

社会福祉法人 渋谷区社会福祉事業団

令和元年度 事業報告書

令和元年度 渋谷区社会福祉事業団 事業報告

渋谷区社会福祉事業団（以下「事業団」）は、平成6年の設立以来、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、特別養護老人ホームなどの高齢者施設や生活実習所などの障害者施設、さらに認定こども園などの児童福祉施設の運営と関連事業を展開してきた。

しかしながら、少子高齢化が進展する中、労働人口の減少が見込まれ、福祉人材の確保は依然として厳しく、事業団においても、恒常的に職員の確保に苦慮している状況にある。

そのような中、事業団では、積極的に採用活動を展開するとともに、職員の育成を進め、質の高い人材の確保に努め、運営の安定化を図ることにより、日本一を目指した質の高いサービスの実現に努めてきた。

令和元年度に実施した事業の概要は、次のとおりである。

1 人材の確保と育成

(1) 職員の採用活動の強化

職員の採用、育成を担当する人事課長を新たに配置し、大学その他教育機関に新卒者の応募を積極的に働きかけたほか、ハローワークや各種の募集ウェブサイトなどを活用し、人材の確保に努めた。

(2) 介護職員等の処遇改善

新たに創設された処遇改善加算制度を積極的に活用し、経験・技能のある職員をはじめ、介護事業にかかわる職員の処遇改善を進めた。

(3) 職員宿舍借上げ事業

認定こども園、保育園では、引き続き保育従事職員借上げ事業を継続し、令和元年度は、36人の職員が利用した。

(4) 職員の育成

認定こども園、保育園では昨年度に引き続き海外研修を実施し、令和元年度は、レッジョ・エミリア市（イタリア）に職員5人を派遣した。また、国内においても、先進的な保育を行っている5か所の施設に職員を32人派遣し、研修を実施した。

2 施設及び事業の管理運営

施設及び事業の管理運営に当たっては、当事業団設立当初の「事業団設立趣意書」に基づき、次の基本方針を踏まえた事業執行を行い、区民福祉の増進を図った。

なお、年度末においては新型コロナウイルス感染症の発生を受けて、一部事業の中止や利用制限を行い、感染拡大防止に努めた。

[基本方針]

- 1 利用者の人格、個性を尊重し、利用者のより快適な生活実現のためのサービス提供を行う。
- 2 地域に根差し、地域に親しまれる開かれた施設づくりを目指す。
- 3 社会の変化や区民の要請に的確に対応できる柔軟な組織や運営体制の確立を図る。

[施設及び事業]

- 1 渋谷区社会福祉事業団本部事務局の運営
 - (1) 本部事務局
 - (2) こども未来課
 - (3) 施設課
- 2 「渋谷区あやめの苑・代々木」の管理運営
 - (1) 特別養護老人ホーム事業
 - (2) 高齢者在宅サービスセンター事業
 - ア ショートステイ事業
 - イ デイサービス事業
 - ウ 介護者教室事業
- 3 「渋谷区美竹の丘・しぶや」の管理運営
 - (1) 特別養護老人ホーム事業
 - (2) ショートステイ事業
 - (3) 地域高齢者支援事業
- 4 母子生活支援施設「ブルーム笹塚」の管理運営
- 5 障害福祉サービス事業所（生活介護）「渋谷区生活実習所つばさ」の管理運営
- 6 授産施設「渋谷区立幡ヶ谷授産場」の管理運営
- 7 障害福祉サービス事業所（※就労継続支援B型）「渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所」の管理運営 ※令和元年10月1日 障害者総合支援法に基づき移行
- 8 「渋谷区立新橋作業所」の管理運営
 - (1) 障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）
 - (2) 物品受託加工事業
- 9 認定こども園「神宮前あおぞらこども園」の管理運営
- 10 認定こども園「本町きらきらこども園」の管理運営
- 11 認定こども園「恵比寿のびのびこども園」の管理運営
- 12 認定こども園「本町そよかぜこども園」の管理運営
- 13 「神宮前保育園にじ」の管理運営

- 1 4 「西原保育園ゆめ」の管理運営
- 1 5 地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所の管理運営
 - (1) 「渋谷区豊沢・新橋地域包括支援センター」の管理運営
 - (2) 「渋谷区富ヶ谷・上原地域包括支援センター」の管理運営
 - (3) 「渋谷区あやめの苑・代々木地域包括支援センター」の管理運営
 - (4) 「渋谷区つばめの里・本町東地域包括支援センター」の管理運営
 - (5) 「渋谷区笹幡地域包括支援センター」の管理運営
 - (6) 「渋谷区千駄ヶ谷・北参道地域包括支援センター」の管理運営
 - (7) 「渋谷区ケアコミュニティ・原宿の丘地域包括支援センター」の管理運営
 - (8) 「渋谷区あやめの苑・代々木居宅介護支援事業所」の管理運営
 - ア 居宅サービス計画作成事業（ケアプランの作成）
 - イ 要介護認定調査

◇ 事業団の職員配置（令和2年3月31日現在）

	事務局長	施設長	部長	課長	事務	介護支援 専門員	介護士
正規職員	1人	12人	2人	11人	19人	36人	77人
(増減)	—	—	+2人	—	—	+1人	+4人
非正規職員	—	—	—	—	3人	7人	39人
(増減)	—	—	—	—	▲1人	▲3人	▲6人
	理学 療法士	作業 療法士	保健師・ 看護師	栄養士	調理	母子 支援員	少年 指導員
正規職員	2人	2人	30人	2人	2人	3人	1人
(増減)	—	—	—	—	▲1人	—	—
非正規職員	—	—	3人	1人	3人	—	—
(増減)	—	—	▲1人	—	▲1人	▲1人	—
	生活 支援員	職業 指導員	施設管理	保育士	用務	心理療法 担当職員	合 計
正規職員	9人	3人	3人	120人	—	—	335人
(増減)	+3人	▲3人	—	+7人	—	—	+13人
非正規職員	8人	8人	2人	36人	7人	—	117人
(増減)	—	—	—	+1人	+1人	—	▲11人
(増減)						総合計	452人
						(増減)	+2人

+ : 増加 ▲ : 減少 — : 増減なし

- ※ 施設長は、事務4人、母子支援員1人、職業指導1人、保育士6人
- ※ 部長は、人事担当参事1人、こども未来部長1人
- ※ 課長は、総務課長（事務3人）、人事課長（事務1人）、施設課長（事務1人）、事業課長（介護支援専門員、介護士各1人）、担当課長（介護支援専門員1人、保育士2人）及びセンター長（介護支援専門員1人）
- ※ 正規職員は、給与規程の適用を受ける職員（特定職員、再任用職員、渋谷区からの派遣職員を含む。ただし、週40時間未満の職員は除く）（以下、同じ。）
- ※ 非正規職員には、再任用職員（週40時間未満勤務）、準職員、非常勤職員及び臨時職員を含む。（以下、同じ。）
- ※ 介護支援専門員には、生活相談員を含む。以下、同じ。
- ※ 上記のほか短時間勤務臨時職員あり（事務・介護支援専門員・介護士・看護師・栄養士・調理・少年指導員・生活支援員・職業指導員・保育士・心理療法士）

◇ 事業団の各施設の定員（令和2年3月31日現在）

施設名	事業種類	定員数
あやめの苑・代々木	特別養護老人ホーム	70人
	ショートステイ	10人
	デイサービス（総合事業含む）	33人
美竹の丘・しぶや	特別養護老人ホーム	127人
	ショートステイ	28人
ブルーメ笹塚	母子生活支援施設	16世帯（52人）
生活実習所つばさ	障害福祉サービス事業所（生活介護）	23人
幡ヶ谷授産場	授産施設	30人
幡ヶ谷のぞみ作業所	障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）	20人
新橋作業所	障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）	25人
	物品受託加工事業	10人
神宮前あおぞらこども園	認定こども園	123人
本町きらきらこども園	認定こども園	123人
恵比寿のびのびこども園	認定こども園	118人
本町そよかぜこども園	認定こども園	121人
神宮前保育園にじ	保育園	50人
西原保育園ゆめ	保育園	106人
合 計		1,069人

渋谷区社会福祉事業団本部事務局の事業報告

I 本部事務局

1 理事会及び評議員会

次のとおり、理事会及び評議員会を開催した。

(1) 理事会の開催状況（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

	開催日	議 題	備 考
第96回	令和元年 5月30日	(報告事項) 1 職務執行状況の報告 2 平成30年度 会計監査人監査報告 3 平成30年度 監事監査報告 4 社会福祉充実計画について (議案) 1 平成30年度当期末繰越活動増減差額の一部積立 2 平成30年度 事業報告 3 平成30年度 決算 4 会計監査契約の更新 5 定時評議員会の招集	原案どおり決定 〃 〃 〃 〃
第97回	令和元年 6月25日	(報告事項) 1 事業報告及び決算の承認 2 会計監査人の選任 (議案) 1 理事長、副理事長及び常務理事の選任 2 評議員選任・解任委員の選任	原案どおり決定 〃
第98回	令和元年 11月8日	【決議の省略】 (議案) 1 定款の変更 2 評議員会の開催について 3 組織及び事務分掌規程の一部改正	原案どおり決定 〃 〃
第99回	令和2年 3月2日	【決議の省略】 (議案) 1 評議員選任候補者の推薦 2 評議員会の招集	原案どおり決定 〃
第100回	令和2年 3月19日	【決議の省略】※ (報告事項) 1 職務執行状況について 2 評議員の選任について	

		(議案) 1 理事の推薦 2 評議員選任・解任委員の選任 3 組織及び事務分掌規程の一部改正 4 令和2年度 事業計画 5 令和2年度 予算	原案どおり決定 〃 〃 〃 〃
--	--	---	-----------------------------

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、決議の省略とした。

(2) 評議員会の開催状況 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

	開催日	議 題	備 考
第61回	令和元年 6月25日	(議案) 1 役員の選任 2 会計監査人の選任 3 平成30年度 事業報告 4 平成30年度 決算 (報告事項) 1 会計監査人監査報告 2 監事監査報告 3 社会福祉充実計画について	原案どおり決定 〃 〃 〃
第62回	令和元年 12月9日	【決議の省略】 (議案) 1 定款の変更	原案どおり決定
第63回	令和2年 3月17日	【決議の省略】※ (議案) 1 理事の選任 2 令和2年度 事業計画 3 令和2年度 予算	原案どおり決定 〃 〃

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、決議の省略とした。

(3) 評議員選任・解任委員会

	開催日	議 題	備 考
第4回	令和2年 3月2日	(議案) 1 評議員の選任	原案どおり決定

2 予算・決算等の調整及び予算の執行統制

3 職員の人事管理・福利厚生・研修

- (1) 職員の人事管理・給与管理を行った。
- (2) 職員の健康管理のための健康診断を実施した。
- (3) 職員の福利厚生のための共済会等の加入事務を行った。

(4) 職員研修の受講の調整、啓発を行った。

4 本部事務局と各施設に関する調整

本部事務局は、各施設と業務委託者である渋谷区との連絡調整の役目を担い、施設や事業の目的を明確にし、各施設がより効果的な事業運営ができるよう側面から援助を行った。また、保育施設の運営に関しては、こども未来課が各こども園・保育園を統括し、円滑なこども園・保育園運営の支援を行った。さらに区の委託を受けて、こども未来課の保育士支援アドバイザーが区立園や私立園の研修を企画し実施した。これらの研修には事業団職員も多数参加し、園同士の交流の機会を増やすことにも繋がった。

研修実施内容及び回数		対象者の経験年数及び事業団職員の研修参加者							区立園・私立園を含む全参加者数
内容	研修回数	経験問わず	1～3年未満	5年以上	7年以上	15年以上	園長	計	
保育理論・実践	4回	13人	9人	7人				29人	109人
保育技術・実践	11回	100人						100人	403人
保育理論・教養	1回	15人						15人	68人
保育理論	9回	72人		13人	6人	6人		97人	504人
保育理論・食育・保健衛生	4回	43人						43人	203人
保育理論・保護者対応	1回	6人						6人	66人
男性保育士	1回	11人						11人	41人
運営管理	1回						3人	3人	41人
計	32回	260人	9人	20人	6人	6人	3人	304人	1,435人

5 本部事務局（総務課・人事課・こども未来課）の職員配置（令和2年3月31日現在）

	事務局長	部長	課長	事務	施設管理	合計
正規職員	1人	2人	4人	9人	1人	17人

※ 参事・部長は、人事担当参事（事務1人）、こども未来部長（事務1人）

課長は、総務課長（事務1人）、人事課長（事務1人）、保育総合支援担当課長（保育士1人）、保育運営支援担当課長（保育士1人）

※ 上記のほか短時間勤務臨時職員あり（保育士）

6 本部事務局の勤務体制

職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分までである。

II 施設課

1 複合施設「渋谷区美竹の丘・しぶや」の施設維持管理

施設全体の維持管理として、清掃、総合案内、設備保守管理、24時間警備、外構管理等を担当し、施設が安全で常に清潔であるように努めた。

令和元年度は消防・防災訓練を2回実施した。

2 「シニア・いきいきコミュニティ・美竹の丘」の管理運営

多目的ホール、会議室、料理室、クラブ室、和室、集会室を有するコミュニティ施設の管理運営により登録団体に文化・コミュニティ活動の場を提供した。

3月28日より新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、臨時休館とした。

また、地域で運営されるコミュニティ委員会の活動支援に努めた。

3 施設課の職員配置（令和2年3月31日現在）

	館長 (施設課長)	事務	施設管理	合計	総合計
正規職員	1人	1人	2人	4人	7人
非正規職員		1人	2人	3人	

4 施設課の勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間勤務する。

職種	勤務	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
事務 施設管理	平常	8:30	—											17:15						
	遅番				12:30	—											21:15			

渋谷区あやめの苑・代々木の事業報告

渋谷区あやめの苑・代々木は、特別養護老人ホームと高齢者在宅サービスセンターが併設された地域の高齢者福祉施設である。特養及びショートステイの定員80床を5グループに分け、1グループ16名として、小人数を決まった職員が介助を行うことで、なじみの深い関係を作り、安心した環境で快適に生活できるように努めている。

平成29年度から通所型サービスC（短期集中リハビリトレーニング）を実施し、「区独自基準通所型サービスA」への利用に繋げられ、一層の機能強化に重点をおいたサービスを提供し、多様なニーズに応え、より積極的な介護予防を推進している。

平成17年度に認証を取得したISO9001については、令和元年度にサーベイランス審査を済ませ、さらに質の高いサービスを提供するため各職種が専門職としての自覚を持ち、順調に運営している。渋谷区から受託した事業は、次のとおりである。

- ◆ 特別養護老人ホーム事業
- ◆ 高齢者在宅サービスセンター事業
 - ・ショートステイ事業
 - ・デイサービス事業

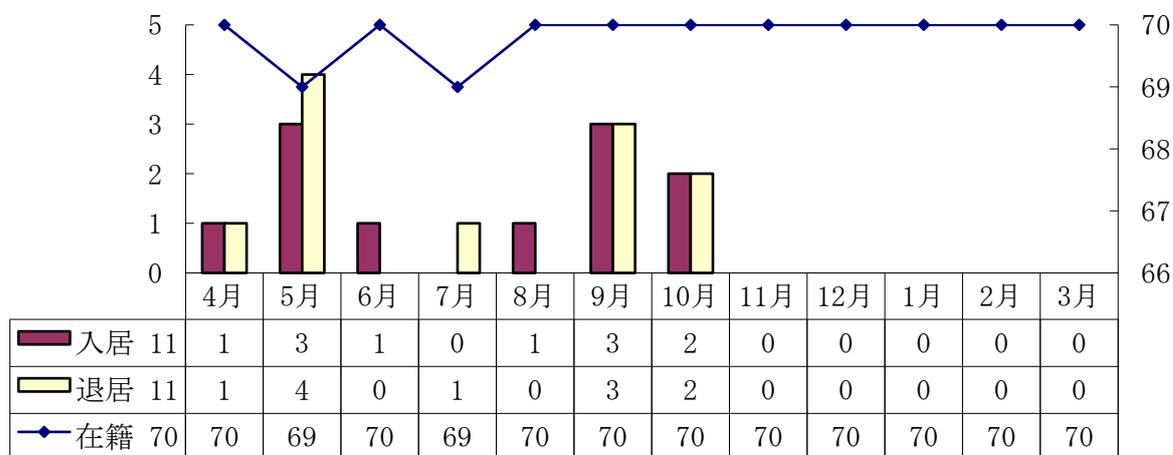
それぞれの事業の運営状況は以下のとおりである。

1 施設の利用状況

(1) 特別養護老人ホーム事業（定員70人）

ア 入退居の状況

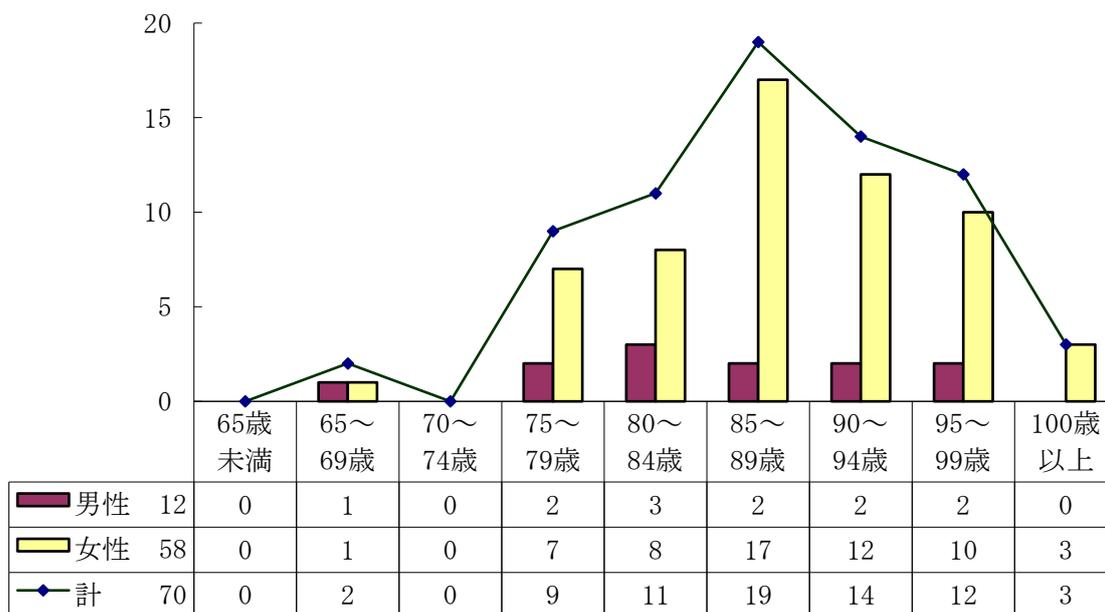
(単位：人)



※ 平均利用率 96.69% (96.13%)

イ 入居者の年齢・性別（令和2年3月31日現在）

（単位：人）

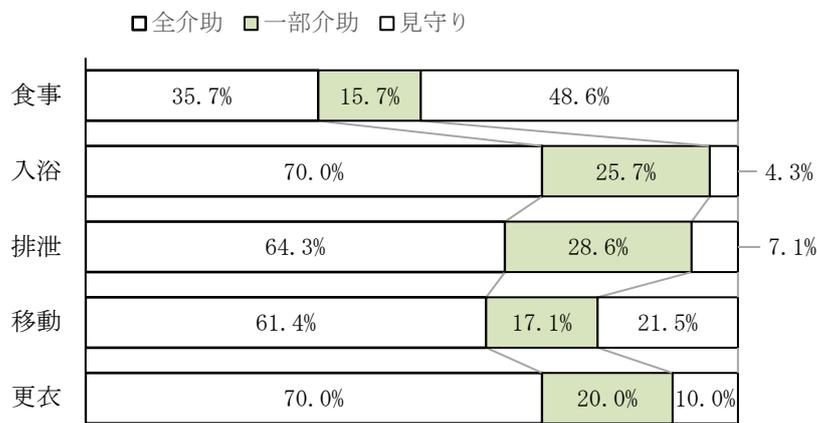


※ 平均年齢 全体 87.9 歳（87.5 歳） 男性 84.6 歳（84.2 歳） 女性 88.5 歳（88.3 歳）

※ 最高齢者 男性 95 歳（94 歳） 女性 107 歳（104 歳） （ ） 内は前年度

ウ 入居者の介助状況（令和2年3月31日現在）

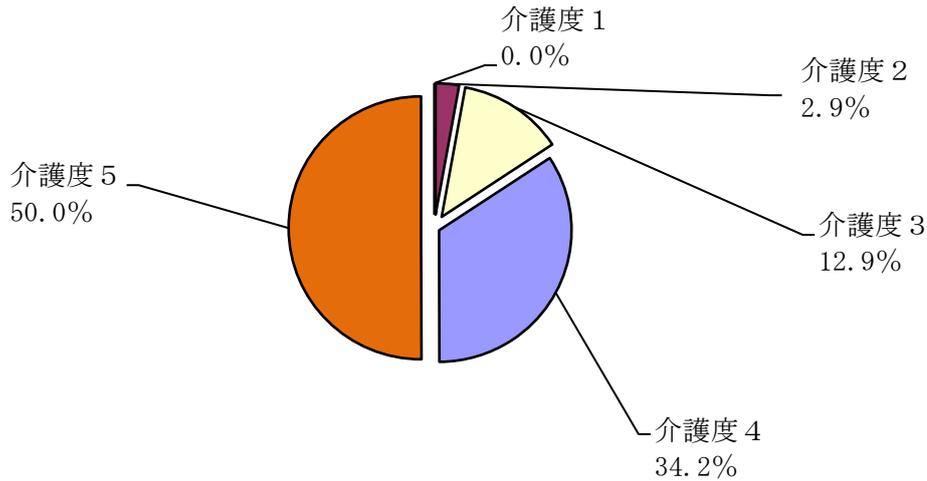
	全介助	一部介助	見守り
食 事	25人	11人	34人
入 浴	49人	18人	3人
排 泄	45人	20人	5人
移 動	43人	12人	15人
更 衣	49人	14人	7人



エ 入居者の要介護度（令和2年3月31日現在）

要介護度	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	計
入居者数	0人	2人	9人	24人	35人	70人
	0.0%	2.9%	12.9%	34.2%	50.0%	100.0%

※ 平均介護度 4.3 度（4.3 度）



オ 入居者の疾病状況（重複計上）

疾患群	病名	人数
脳血管系疾患	脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、多発性脳梗塞、パーキンソン病、脳梗塞、慢性硬膜下血腫	28人
悪性新生物	右前頭葉腫瘍、乳癌	2人
精神神経系疾患	認知症、アルツハイマー、うつ病、てんかん、レビー小体認知症、高次脳機能障害、症候性てんかん、脊髄損傷、統合失調症、双極性障害、小児麻痺、多系統萎縮症	64人
循環器系疾患	高血圧、慢性心不全、狭心症、不整脈、心肥大、心房細動、大動脈弁閉鎖不全、洞不全症候群、深部静脈血栓症、陳旧性心筋梗塞、大動脈瘤解離、腹部大動脈瘤、低カリウム血症、下肢閉塞閉性動脈硬化症、僧帽弁閉鎖不全症、大動脈弁狭窄症、低ナトリウム血症、弁膜症、うっ血性心不全	79人
呼吸器系疾患	気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、間質性肺炎、慢性閉塞性肺疾患、陳旧性肺結核、肺気腫	9人
内分泌系疾患	糖尿病、高脂血症、脂質異常症、高コレステロール血症	10人
筋骨格系疾患	廃用性症候群、骨粗鬆症、変形性膝関節症、関節リウマチ、変形性腰椎症、両側変形性股関節症、慢性関節リウマチ	20人
消化器系疾患	便秘症、胆のう炎、胆石、C型肝炎、B型肝炎、人工肛門、肝硬変、逆流性食道炎、胆管結石、脱肛、食道裂孔ヘルニア、慢性胃炎、そけいヘルニア	28人

眼科系疾患	白内障、緑内障、黄斑変性症	28人
耳鼻科系疾患	慢性中耳炎、難聴、蓄膿症、メニエール病	21人
泌尿器系疾患	神経因性膀胱、腎機能障害、慢性腎臓病、慢性腎不全、前立腺肥大、腎結石、腎のう胞	9人
皮膚科系疾患	尋常性乾癬、全身乾皮症	3人
自己免疫疾患	橋本病、甲状腺機能低下症	6人
血液系疾患	貧血、鉄血乏性貧血	6人

(2) ショートステイ事業

－短期入所生活介護事業、介護予防短期入所生活介護事業－

◆ 月別利用状況（定員：10人／日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	38人	38人	35人	38人	42人	41人
利用日数	318日	303日	287日	305日	332日	322日
平均利用日数	8.4日	8.0日	8.2日	8.0日	7.9日	7.9日

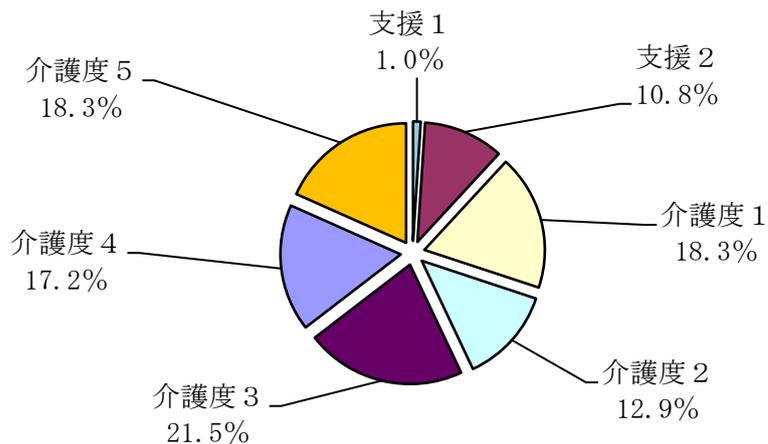
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	40人	40人	37人	36人	33人	39人	457人
利用日数	326日	312日	311日	300日	279日	310日	3,705日
平均利用日数	8.2日	7.8日	8.4日	8.3日	8.5日	7.9日	8.1日

※ 平均利用率 101.2% (102.6%)

◆ ショートステイ利用者の要介護度（年間・実人員）

	支援1	支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計
利用者数	1人	10人	17人	12人	20人	16人	17人	93人
	1.0%	10.8%	18.3%	12.9%	21.5%	17.2%	18.3%	100.0%

※ 平均介護度 3.0度 (3.1度) *要支援を除く



(3) デイサービス事業

一通所介護事業、介護予防支援事業、介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）
 ア デイサービス

(ア) 通所介護、介護予防、介護予防支援、総合事業（国基準相当）

◆ 月別利用状況（定員25人/日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数 a	376人	389人	370人	385人	389人	363人
利用者数 b	120人	127人	127人	147人	124人	112人
利用者数 c	11人	14人	12人	13人	10人	7人
計	507人	530人	509人	545人	523人	482人
利用率	78.0%	78.5%	81.4%	80.7%	77.4%	77.1%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数 a	381人	410人	362人	397人	435人	419人	4,676人
利用者数 b	120人	106人	101人	92人	89人	80人	1,345人
利用者数 c	8人	3人	7人	4人	4人	2人	95人
計	509人	519人	470人	493人	528人	501人	6,116人
利用率	78.3%	79.8%	78.3%	82.1%	84.4%	77.1%	79.5%

※ 利用者数 a は、介護給付の利用者（要介護1から5）

※ 利用者数 b は、総合事業（国基準相当）の利用者（要支援1・2及び事業対象者）

※ 利用者数 c は、介護予防支援事業利用者（要支援1及び事業対象者）

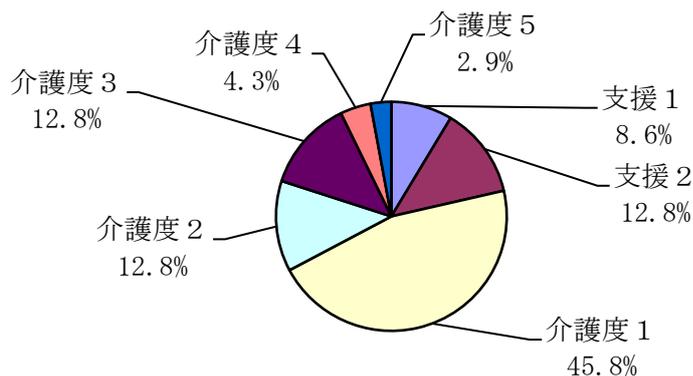
※ 年間稼働日は、308日（総合事業も同様）

※ 前年度利用率は、86.2%

◆ デイサービス利用者（利用者 a～c）の要介護度（令和2年3月31日現在）

	支援1	支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計
利用者数	6人	9人	32人	9人	9人	3人	2人	70人
	8.6%	12.8%	45.8%	12.8%	12.8%	4.3%	2.9%	100.0%

※ 平均介護度 1.8度（2.0度） * 要支援を除く



(イ) 総合事業（区独自基準：通所サービスA）

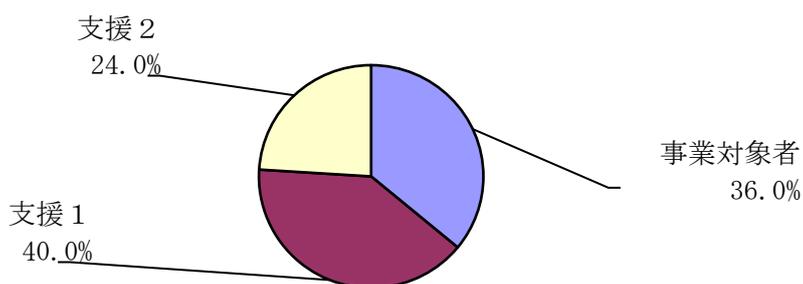
◆ 月別利用状況（定員8人／日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数d	118人	129人	108人	131人	87人	111人
利用率	56.7%	59.7%	54.0%	60.7%	40.3%	55.5%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数d	104人	129人	122人	128人	135人	134人	1,436人
利用率	50.0%	62.0%	63.5%	66.7%	67.5%	64.4%	58.4%

◆ デイサービス利用者（利用者 d）の要介護度（令和2年3月31日現在）

	事業対象者	支援1	支援2	計
利用者数	9人	10人	6人	25人
	36.0%	40.0%	24.0%	100.0%



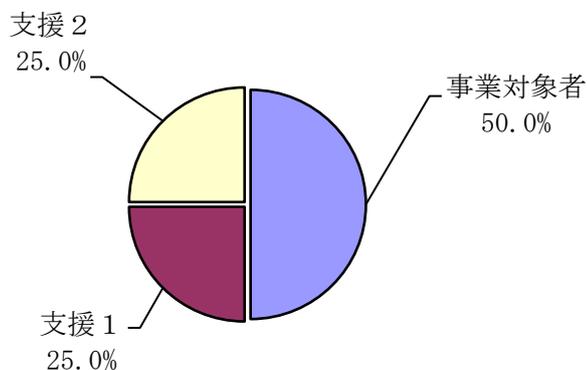
(ウ) 総合事業（通所型サービスC 短期集中リハビリトレーニング）

◆ 月別利用状況（定員10人/日）

	10月	11月	12月	計
利用者数e	34人	33人	24人	91人
利用率	42.5%	36.6%	34.3%	37.8%

◆ デイサービス利用者（利用者e）の要介護度（令和2年3月31日現在）

	事業対象者	支援1	支援2	計
利用者数	2人	1人	1人	4人
	50.0%	25.0%	25.0%	100.0%



イ 介護者教室

	開催日	テーマ	参加人数
第1回	6月26日	「認知症サポーター要請講座」	6人
第2回	9月28日	「高齢者を狙う悪質商法の手口と対処」	14人
第3回	12月7日	「介護負担を減らすためのセルフマッサージ」	8人
第4回	3月21日	「車イスの種類と操作方法」	中止
合 計			28人

ウ デイサービス家族懇談会

	開催日	参加人数
第1回	2月8日・2月11日（2日間）	8人

2 処遇の状況

(1) 年間行事実施状況

	行事名	実施内容	摘要
4月	誕生会 世界・日本の郷土食 お花見ドライブ 花まつり	お祝いと会食 かつおのたたき（高知県） お琴演奏、日本舞踊、唱歌	立正寺主催
5月	誕生会 世界・日本の郷土食 端午の節句昼食会 菖蒲湯 動物とのふれあい 買い物サロン 外出バスドライブ	お祝いと会食 ルーローファン（台湾） 各フロアに鯉のぼりを飾り、会食 小動物とのふれあい 出張衣料販売	日本動物病院福祉協会によるボランティア
6月	誕生会 世界・日本の郷土食 午後のお茶会 外出バスドライブ 地域フェス・あやめ〜おとなりサンデー〜	お祝いと会食 ソースカツ丼（群馬県） フルーツバイキング	代々木三丁目町会共催
7月	誕生会 世界・日本の郷土食 七夕夕食会 お盆行事（苑庭） 動物とのふれあい 近隣ドライブ	お祝いと会食 フウオドニク（ポーランド） 各フロアに七夕を飾り、会食 迎え火、送り火 小動物とのふれあい	日本動物病院福祉協会によるボランティア
8月	誕生会 納涼祭 世界・日本の郷土食 近隣ドライブ	お祝いと会食 盆踊り、模擬店、ゲーム 焼きサバちらし寿司（福井県）	招待者、区関係者、家族、近隣、山谷かきのみ園、ボランティア
9月	誕生会 世界・日本の郷土食 敬老会 動物とのふれあい お神輿 外出ドライブ	お祝いと会食 フリカデラ（デンマーク） 敬老のお祝い、ギター演奏、家族と会食 小動物とのふれあい 代々木八幡宮	招待者、区関係者、家族、ボランティア 日本動物病院福祉協会によるボランティア

10月	誕生会 世界・日本の郷土食 午後のお茶会 外出バスドライブ 地域フェス・あやめ～みんなで体操～	お祝いと会食 わっぱ飯（新潟県） 和菓子、抹茶を提供	
11月	誕生会 世界・日本の郷土食 二期会コンサート 動物とのふれあい いちようドライブ	お祝いと会食 アイリッシュシチュー（アイルランド） オペラ 小動物とのふれあい	日本動物病院福祉協会によるボランティア
12月	誕生会 世界・日本の郷土食 餅つき クリスマス会 ゆず湯 いちようドライブ	お祝いと会食 ます寿司（富山県） ケーキやお菓子を楽しむ	
1月	誕生会 世界・日本の郷土食 新年祝賀会 初詣	お祝いと会食 バターライス（スイス） グループ毎におせち料理会食、祝賀 あやめ神社勧請	
2月	誕生会 世界・日本の郷土食 節分 午後のお茶会	お祝いと会食 きりたんぼ鍋風（秋田県） 豆まき ケーキを提供	
3月	誕生会 世界・日本の郷土食 雛祭り 阿波踊り ※ 動物とのふれあい ※ 近隣ドライブ ※ ピアノ演奏会	お祝いと会食 ツオイワン（焼うどん）（モンゴル） フロアで雛人形を飾り、会食 小動物とのふれあい 職員による演奏	点晴連 日本動物病院福祉協会によるボランティア

※印は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止のため中止とした。

(2) クラブ活動実施状況

クラブ名	実施日等	実施内容	参加人員
音楽クラブ	第4水曜日	ハーモニカ等の伴奏による合唱（唱歌・季節の歌・なつメロ等）楽器演奏	20～25人
手工芸クラブ	毎月1回	毛糸を用いた共同作品	7～8人
おしゃれクラブ	毎月1回	お化粧品、マニキュア	20～30人内容及び心身の状況により参加
クラブトントン	毎月3回	歌、体操、レクリエーション	
クラシックコンサート	毎月1回	山口音楽教室（バイオリン、ピアノ等）	35～45人
映画上映会	毎月1回	懐かしの邦画	8～10人

アロママッサージ	毎月1回	ハンドマッサージ	6～8人
ハーモニカ伴奏(令和元年12月終了)	毎月2回	ハーモニカ伴奏による合唱	7～8人
やさしいヨガ	毎月2回	ヨガ	8～10人

(3) ボランティアの受入状況

ボランティアの受け入れは、ボランティアの活動意思を尊重し、「入居者ケアの向上を図る」「地域との交流を図る」「施設への理解を深める」等の方針により受け入れを図った。

活 動	参加者等	延参加人数
1階喫茶コーナー「あい」にて飲食物の提供	「あい」	900人
入居者の生活援助 (散歩・お話し相手・読み聞かせ・車椅子の清掃等)	リプレンスプラス、ボランティアセンター、「あい」、一般、NPOドットファイブトキョー、帝京短期大学	600人
理髪ボランティア (入居者の理髪)	理容師、アートネイチャー企業ボランティア	88人
各種行事への付き添い、納涼祭模擬店参加等	一般、「あい」、南新宿町会、点晴連、山谷かきのみ園、NPOドットファイブトキョー	55人
各種クラブ活動	一般	436人
施設慰問	立正寺、山谷かきのみ園、東洋英和女学院茶道部、二期会(渋谷法人会)、ガールスカウト、六本木二郎、福田進一、渋谷消防少年団	300人
障子貼り	株エドワースライフサイエンス	10人
地域フェスあやめ(おとなりサンデー・みんなで体操)	一般	60人
	合 計	2,449人

※ 3月は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止のため全ての活動を中止とした。

(4) 実習生の受入状況

	[実人員]	[延人員]
① 介護福祉士	6人	98人
② 看護学生	35人	87人
③ 人事院公務員研修	3人	15人
④ 介護職員初任者研修	0人	0人
⑤ その他	23人	117人
計	67人	317人

(5) 医療体制

- ① 管理医勤務日数 94日
- ② 従事医勤務日数 95日
 - (内訳) 内科医 (35日)
 - 皮膚科 (12日)
 - 精神科医 (24日)
 - 整形外科 (24日)
- ③ 歯科医口腔衛生指導日数 24日

(6) 防災体制

	実施項目	実施内容
4月	あやめの苑の防災対策	あやめの苑・代々木防災対策内容確認
5月	初期消火訓練	消火器の取り扱い説明と放水訓練
6月	AED使用訓練	代々木警察署による心肺蘇生・AED使用訓練
7月	夜間火災発生時行動訓練	夜勤体制時の火災発生行動訓練
8月	火災発生時のベッドから避難訓練	火災発生時ベッドからベランダへの避難訓練
9月	複合火災受信機訓練	複合火災受信機取り扱い訓練
10月	火災発生時避難用すべり台避難訓練	火災発生時避難用すべり台(らせん)避難訓練
11月	災害時緊急用発電機始動訓練	電源用発電機(ガス用)始動訓練
12月	防災設備・備蓄品確認	防災設備・非常電源・発電機と備蓄品の確認
1月	災害時職員行動訓練	地震発生時の職員行動チャート
2月	AED使用訓練	新型コロナウイルス感染症予防のため中止
3月	町会等との合同防災訓練	新型コロナウイルス感染症予防のため中止

5 職員研修

職 種	研修内容	延参加 人数	延研修 日数
管理者	研修の基本を学び職場研修の体制を作ろう、チームリーダー研修会、高齢者福祉施設におけるサービスマナー研修	4人	9日
介護支援専門員（包括職員含む）	渋谷区介護支援専門員研修会、生活相談員研修会（中央ブロック）、ショートステイのリスクマネジメント研修会ショートステイ情報交換会、認定調査員現認研修事例から学ぶ生活相談員の事故対応研修会	10人	12日
介護士	渋谷区職員新任研修（ビジネスマナー）、介護職員新任研修、第1回介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修、専門職それぞれの視点から考える看取りケア福祉用具サービス業務従事者講習会、渋谷区介護人材育成研修、プレイケアリーダー養成講習会、高齢者福祉実践・研究大会、介護現場の課題を介護レクリエーションで解決研修	28人	62日
作業療法士 理学療法士	認知症のある方の評価と機能訓練の展開、機能訓練計画書の作成から訓練の展開と評価	2人	2日
看護師	看取りと看護とグリーフケアの実際、在宅でのターミナルケア	2人	2日
全職員	身体拘束防止研修、虐待防止研修、倫理研修、褥瘡防止研修、嘔吐物の処理研修、BPSD対応研修、認知症サポーター養成講座、ポジショニング研修、新人研修、事故防止研修、多系統萎縮症について、ストレスマネジメント研修看取りケア研修フィードバック、福祉用具研修フィードバック、オムツの当て方、骨折のリスクと対策、感染症研修（インフルエンザ）、介護職員の心がけ、事故対応接遇研修、身体拘束と事故防止研修、看取り研修、全身清拭感染症研修（結核について）、多職種連携目標研修	497人	35日

渋谷区美竹の丘・しぶやの事業報告

渋谷区美竹の丘・しぶやは、渋谷区で初めて開設された「ユニットケア」による特別養護老人ホームである。全室を入居者のプライバシーに配慮した個室とし、7～8室の個室と食事や機能訓練を行うリビングを1つの生活単位（ユニット）として、小人数の家庭的な雰囲気の中で介護を行っている。

平成31年3月より導入されたICT（情報通信技術）を活用した見守りシステム及びそれを連動した記録システムの導入により、業務効率改善を図ることが出来た。

渋谷区から受託した事業は、次のとおりである。

- ◆ 特別養護老人ホーム事業
- ◆ ショートステイ事業
- ◆ 地域高齢者支援事業

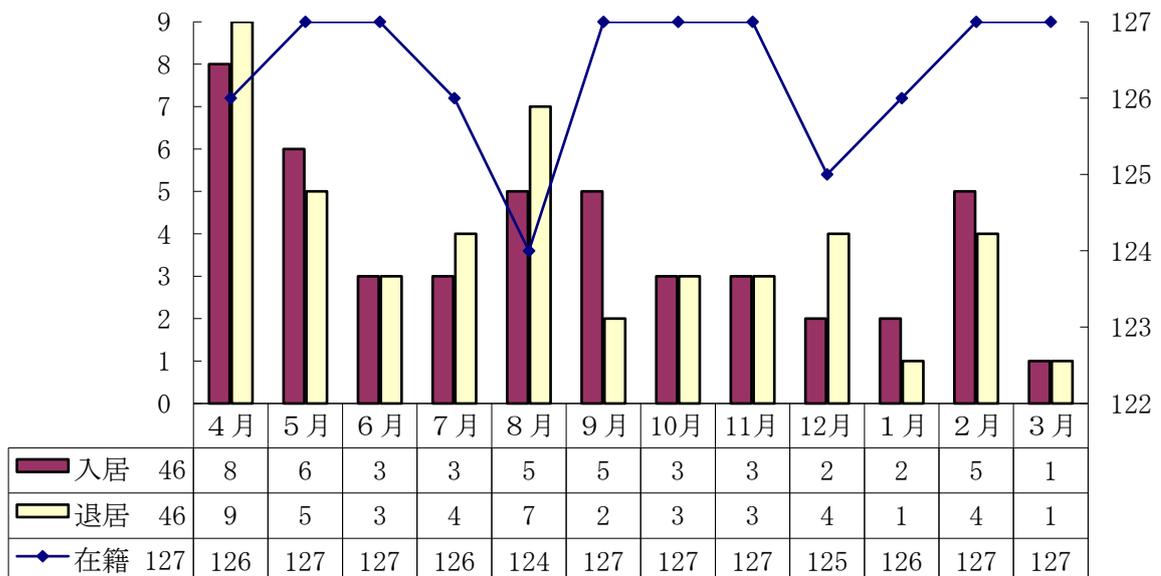
また、それぞれの事業の運営状況は以下のとおりである。

1 施設の利用状況

(1) 特別養護老人ホーム事業（定員127人）

ア 入退居の状況

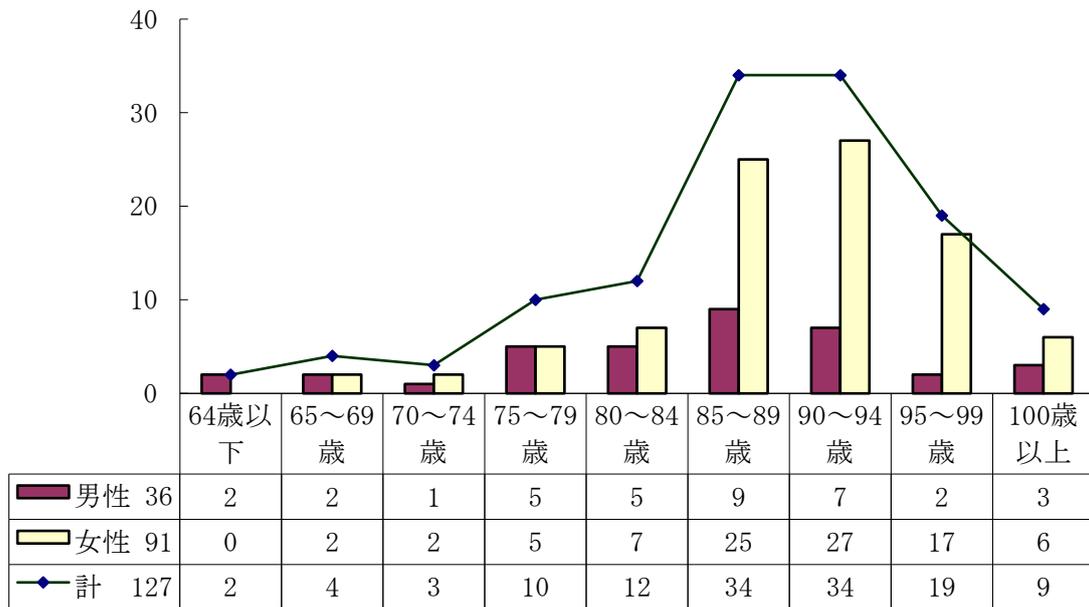
（単位：人）



※ 平均利用率 94.57% (95.12%)

イ 入居者の年齢・性別（令和2年3月31日現在）

（単位：人）

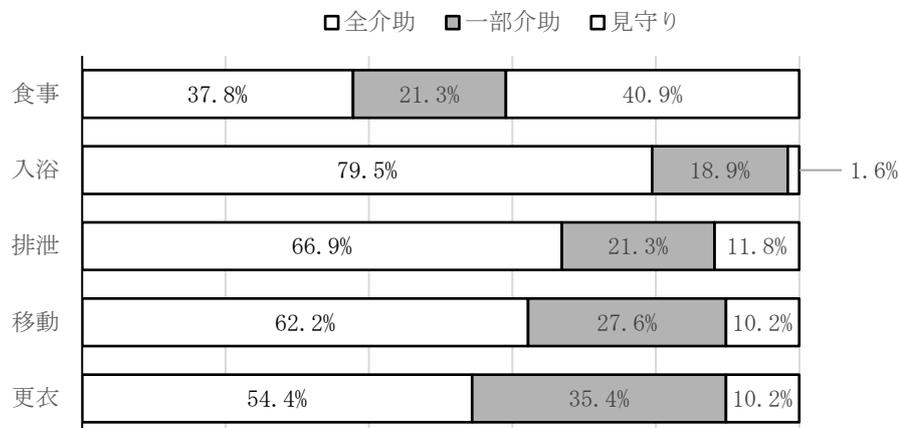


※ 平均年齢 全体88.2歳（88.2歳）男性84.6歳（83.8歳）女性89.7歳（89.5歳）

※ 最高齢者 男性103歳（102歳）女性107歳（106歳）（ ）内は前年度

ウ 入居者の介助状況（令和2年3月31日現在）

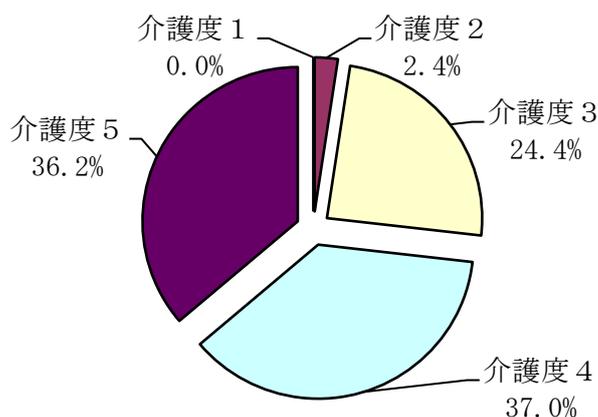
	全介助	一部介助	見守り
食 事	48人	27人	52人
入 浴	101人	24人	2人
排 泄	85人	27人	15人
移 動	79人	35人	13人
更 衣	69人	45人	13人



エ 入居者の要介護度（令和2年3月31日現在）

要介護度	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計
利用者数	0人	3人	31人	47人	46人	127人
	0.0%	2.4%	24.4%	37.0%	36.2%	100.0%

※ 平均介護度 4.1度（4.1度）



オ 入居者の疾病状況（重複計上）

疾患群	病名	人数
脳血管系疾患	脳梗塞、脳出血後遺症	45人
悪性新生物	前立腺癌、乳癌	14人
精神神経系疾患	認知症、うつ病、パーキンソン病、てんかん、統合失調症、脊髄小脳変性症、小児麻痺、高次脳機能障害	86人
循環器系疾患	高血圧、狭心症、期外収縮、慢性心不全、高脂血症	80人
呼吸器系疾患	陳旧性肺結核、喘息、気管支拡張症	18人
内分泌系疾患	糖尿病、甲状腺機能低下症	13人
筋骨格系疾患	大腿骨頸部骨折後遺症、腰痛、変形性膝関節炎、後縦靭帯骨化症、変形性脊椎症等	57人
消化器系疾患	消化管癌術後、胆石、肝障害	32人
眼科系疾患	白内障、逆まつげ	7人
泌尿器系疾患	膀胱炎、前立腺肥大、腎結石	8人
皮膚科系疾患	白癬、爪白癬、老人性そう痒症、天疱創、帯状疱疹	21人
婦人科系疾患	子宮脱、不正出血	5人
自己免疫疾患	シェーグレン症候群、慢性関節リウマチ	2人

(2) 短期入所（ショートステイ）事業

－短期入所生活介護事業、介護予防短期入所生活介護事業－

◆ 月別利用状況（定員28人／日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	100人	95人	98人	111人	112人	101人
利用日数	751日	752日	721日	778日	885日	812日
平均利用日数	7.5日	7.9日	7.4日	7.0日	7.9日	8.0日

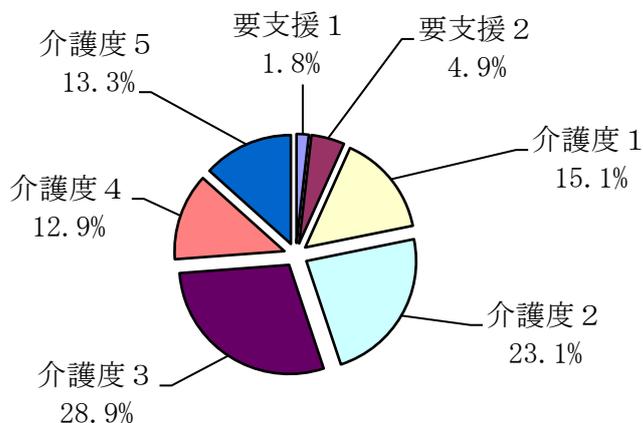
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	113人	111人	110人	100人	109人	89人	1,249人
利用日数	838日	811日	881日	807日	785日	812日	9,633日
平均利用日数	7.4日	7.3日	8.0日	8.1日	7.2日	9.1日	7.7日

※ 平均利用率 94.0% (94.2%)

◆ ショートステイ利用者の要介護度（年間・実人員）

	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計
利用者数	4人	11人	34人	52人	65人	29人	30人	225人
	1.8%	4.9%	15.1%	23.1%	28.9%	12.9%	13.3%	100.0%

※ 平均介護度 2.9度 (2.8度) *要支援を除く



2 処遇の状況

(1) 年間行事実施状況

ア 全体実施

	行事名	実施内容
7月	夏まつり	保育園との合同開催により、1階ロビーや玄関前エントランス、2階のコミュニティ施設を会場として模擬店やゲームコーナー、子供神輿などを実施した。
9月	敬老会	2階ホールを会場として実施し、区長と区議会議長からお祝いの言葉と花束等の贈呈があった。その後、ボランティアによる合唱などを鑑賞した。
3月	春まつり	新型コロナウイルス感染症予防のため中止

イ 各ユニット実施

各ユニットでは、年間を通して次のような行事を実施した。

- ◆ 入居者に関するもの
誕生日会、100歳のお祝い会、カラオケ、工作、シャボン玉を楽しむ
- ◆ 食に関するもの
お菓子づくり、出前、ランチ会、茶話会、かき氷、果物を楽しむ会、梅ジュース作り、パン祭り
- ◆ 季節に関するもの
菖蒲湯、母の日、父の日、七夕、神宮花火大会見物、納涼行事、暑気払い、スイカ割り、お月見、ハロウィンパーティー、ミニ運動会、ゆず湯、クリスマス、正月行事、書初め、新年会、節分、バレンタインデー、ひな祭り
- ◆ 外出に関するもの
神宮外苑銀杏並木散策

(2) クラブ活動実施状況

クラブ名	実施日等	実施内容	延参加人数
園芸クラブ	3か月に1回	花苗の手入れと植え替え	10～15人
書道クラブ	月1回	書道	88人
生け花クラブ	月1回	生け花	218人

(3) ボランティアによる行事の開催状況

活動名	内 容	ボランティア の延参加人数
喫茶ベルコリン	5階会場においてお茶やケーキ類のサービス	86人
歌唱（歌謡曲・唱歌等）	カラオケと参加者の合唱	19人
朗読	詩や絵本、紙芝居等の朗読	65人
ワンポイント・メイク及び ハンドマッサージ	お化粧品と手指・腕・足等の簡単なマッサージ	48人
ヘアカット	6階美容室において、ヘアカット・シャンプー・ブローを行う	116人
動物とふれあう会	犬や猫の小動物とのふれあい	62人
傾聴（会話）	個人またはグループによる会話や傾聴	112人
舞踊リハビリ（舞リハ）	日本舞踊を取入れた主に上半身の運動	22人
折り紙	創作折り紙を楽しむ	9人
合 計		539人

(4) 施設内のイベント活動

活動名	内 容	回数	延参加人数
歌唱&楽器演奏等	シャンソン・コーラス・ピアノ等の演奏、歌の披露	1回	75人
保育園等との交流会	園児・児童による歌や踊りの披露等（美竹の丘保育園）	10回	100人
夏まつり、敬老会	歌や踊りの披露、模擬店、ゲームコーナー等の開催	2回	380人
合 計		13回	555人

(5) 医療体制

- ① 管理医勤務日数 162日
- ② 従事医勤務日数 100日
- （ 内 訳 ） 内科医 （ 24日 ）
- 皮膚科 （ 28日 ）
- 精神科 （ 24日 ）
- 整形外科 （ 24日 ）
- ③ 歯科医口腔衛生指導日数 74日

(6) 防災体制

	実施項目	実施内容
4月	防災研修・訓練	7階で実施。消防設備機器の機能説明及び取り扱い方について、初期消火について
5月	合同消防訓練	6階Dユニットからの出火を想定した施設全体の消防訓練（通報、非常放送、初期消火、避難誘導等を実施）
6月	防災研修・訓練	5階で実施。5月実施の合同消防訓練の振り返り（避難通路に障害物がなかったか、初期消火時の出火場所との距離は適正であったか、フロア在籍人数は確認出来ていたか、防火扉は適正に使用出来ていたか、通報設備が配置されている職員室の整理整頓は出来ていたか等）
7月	防災研修・訓練	3階で実施。消火器、消火栓の機能説明及び使用方法について
8月	防災研修・訓練 普通救急救命講習	9階で実施。救急車の適正利用について普通救命講習テキストを使用して実施 応急手当について学ぶため、2階ホールで普通救急救命講習3時間コースを実施
9月	防災研修・訓練	8階で実施。消防設備機器、誤作動の際の対処法について
10月	合同防災訓練	4階Dユニットからの出火を想定した施設全体の消防訓練（通報、非常放送、初期消火、避難誘導等を実施）
11月	防災研修・訓練 夜間停電発生時の対応訓練	7階で実施。夜間停電を想定した初期対応訓練を実施。非常用電源作動時の照明の状況、停電時に使用できるコンセント位置の確認及びポータブル発電機の使用方法を説明
12月	防災研修・訓練	6階で実施。火災発生時の館内放送の説明及び電話機、表示器、放送機器の説明及びスプリンクラー誤作動時の対処について
1月	防災研修・訓練	5階で実施。消火器、消火栓の位置確認及び扱い方について
2月	防災研修・訓練	4階で実施。消防設備機器の取扱い等について
3月	防災研修・訓練	3階で実施。自己点検（火気及び閉鎖障害）に沿って場内パトロールを実施。終了後、参加者は配属フロアでも同様にパトロールを実施

3 地域高齢者支援事業

介護予防事業（地域支援事業）として、シニアトレーニングスタジオにおいて、日常生活に必要な筋力の維持、向上を目指した運動機能トレーニングを行うことにより、寝たきり等の要介護状態になる一因である転倒の防止及び加齢による運動機能の低下から日常生活における支障を防ぐことを目的として実施した。

(1) 高齢者健康トレーニング教室

◆参加人数 延477人

◆内 容 マシントレーニング、ストレッチ体操、リズム体操、セラバンドトレーニング、栄養改善・口腔機能の講習、レクリエーションなど

	実施曜日	期 間	日数	回数
第1回	水・金	令和元年 5月15日～ 6月21日	12日	12回
第2回	水・金	令和元年 9月11日～10月18日	12日	12回
第3回	水・金	令和元年11月13日～12月20日	12日	12回
第4回	水・金	令和2年 1月15日～ 2月21日	12日	12回

(2) シニアトレーニングスタジオ自由利用

- ◆ 参加人数 延2, 705人
- ◆ 内 容 高齢者健康トレーニング教室や過去において実施した各種教室の修了者が運動を継続するためのトレーニングスタジオでのマシントレーニングなど

実施曜日	期 間	日数	回数
日・火・水・金	平成31年4月2日～令和2年2月25日	177日	262回

※ 2月26日より新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、自由利用を中止した。

4 職員配置 (令和2年3月31日現在)

	施設長	課長	事務	介護支援 専門員	介護士	
正規職員	1人	2人	3人	6人	53人	
非正規職員					20人	
	栄養士	作業 療法士	理学 療法士	看護師	合計	総合計
正規職員	1人	1人	1人	8人	76人	96人
非正規職員					20人	

※ 課長は、総務課長（事務）、事業課長（介護支援専門員）各1人

※ 正規職員のうち介護士2人が育休取得中

※ 上記のほかに短時間勤務職員あり（事務・介護支援専門員・介護士・看護師）

5 勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間勤務する。

(1) 介護士

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
介護士	早番1					7:00																			
	早番2									8:00															
	日勤1										9:15														
	日勤2											10:15													
	遅番1												11:15												
	遅番2													12:15											
	遅番3														13:15										
	夜勤																								

(2) 看護師

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23				
看護師	日勤							8:30	—————										17:15										
	夜勤	—————												9:30					16:30	—————									

(3) その他

職種	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23					
事務 介護支援専門員 栄養士 作業療法士 理学療法士								8:30	—————										17:15										

6 職員研修

福祉・保健・医療の連携を図るため、介護に関する研修等に参加し、自己研鑽に努めた。

職種	研修内容	延参加人数	延研修日数
管理者	特養分科会、高齢者虐待防止研修、ユニット型特養の経営上の問題点、高齢者福祉施設協議会、ロボット活用研修	7人	7日
介護支援専門員	渋谷区介護支援専門員研修会、介護支援専門員再研修、東京都認定調査員新規研修、事例から学ぶ生活相談員の事故対応、介護支援専門員更新研修、ショートステイのリスクマネジメント研修会	10人	20日
介護士	ショートステイのリスクマネジメント研修会、ヒヤリハット事例を交えたリスク管理の重要性と福祉用具を使った安全で質の高いケア、福祉職員職務階層別研修（チームリーダー研修）、高齢者福祉施設における中堅職員のための能力開発研修会、排せつの仕組みと福祉用具、ヒヤリハット情報に学ぶ福祉用具の安全な利用	7人	7日
看護師	高齢者の結核対策（平常時対策と発生時対応）	1人	1日
作業療法士	抱き上げないケアと福祉用具の活用が利用者・介助者・経営側にもたらすメリット	1人	1日
事務	介護報酬請求事務に関わる研修会（応用編）、介護職員処遇改善加算（新制度）について	2人	2日
全職員	看取りケア、ノロ対応ユニット研修、感染症対策、認知症ケアを考える、適切なケアを考える、移乗事故防止、高齢者虐待の防止、薬事故防止、高齢者の食事について、事故防止（骨）、緊急時救急対応、救命講習、身体拘束適正化研修、ヒヤリハット情報に学ぶ福祉用具の安全な利用、ポジショニング研修、徘徊への対応、サービスマナー研修、排泄障害へのアプローチ、防ぐべき事故と防げない事故について、チームリーダー研修、認知症のある方の評価と機能訓練の展開、交換研修報告会	490人	44日

ブルーメ笹塚の事業報告

1 事業運営に関する報告

渋谷区立母子生活支援施設ブルーメ笹塚は、児童福祉法内施設として「母と子が安心できる場」の実現を基本理念に掲げ、今年度も「母の自立支援」「子どもの育ちへの支援」「親子関係を育むための支援」「施設退居後の生活の広がりへの支援」「児童虐待防止」を重点的に取り組んだ。

事業運営にあたっては、ファミリーソーシャルワークとケアワークの手法により、母と子が営む家庭生活を「丸ごと」側面的に支援をする姿勢で取り組んだ。

2 施設の利用状況（令和2年3月31日現在）

定員	入居世帯数	入居児童数	入居者合計	母親平均年齢
16世帯	10世帯	16人	26人	41歳

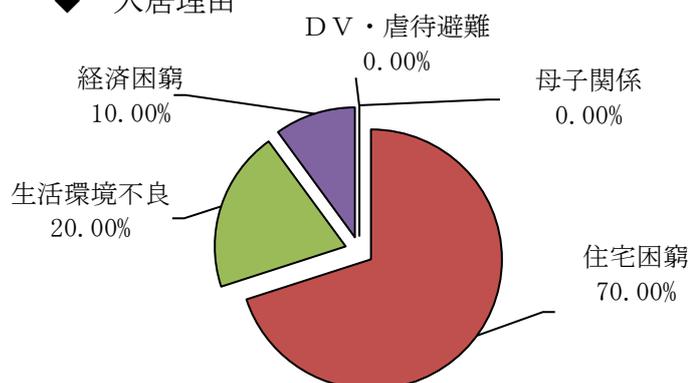
◆ 入居児童の内訳（令和2年3月31日現在）

乳幼児	小学校 低学年	小学校 高学年	中学生	高校生	短大生/大学生 /専門学校生	合計
4人	3人	6人	2人	1人	0人	16人

◆ 世帯の内訳

	世帯数
2人世帯	7世帯
3人世帯	1世帯
4人世帯	1世帯
5人世帯	1世帯
6人世帯	0世帯
計	10世帯

◆ 入居理由



◆ 入・退居状況

	世帯数	人数（うち児童数）	退居世帯の平均利用期間
入居	8世帯	22人（14人）	1年9か月
退居	7世帯	15人（8人）	
<退居先> 都営住宅：1世帯、区営住宅：1世帯、民間：4世帯 その他：1世帯			

[月別入退居の動向] (月末世帯数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居世帯数	0	1	2	1	0	1	1	0	0	0	1	1
入居人数	0	2	6	5	0	3	2	0	0	0	2	2
退居世帯数	1	0	0	1	0	2	0	0	0	2	0	1
退居人数	2	0	0	2	0	4	0	0	0	4	0	3
総世帯数	8	9	11	11	11	10	11	11	11	9	10	10
在所人数	17	19	25	28	28	27	29	29	29	25	27	26

3 支援の状況

(1) 子どもの育ちへの支援 【表1】

ア 遊び支援

児童の遊び支援は、子どもの様子確認や要保護児童に関わる貴重な時間であり、遊びを通して楽しさを実感してもらい、心の安定を育む時間として有効であった。

イ 学習支援

学習支援は平日の18時15分から19時、長期休みは10時から11時に宿題を中心に行い、学習の習慣付けや学力の向上・補完を行った。また、NPO法人による「イングリッシュ・ドライブ」では英語を楽しみながら学ぶという勉強会であった。

また、国の特別育成費として対象となる児童がいる世帯に補習費として塾代を助成した。

【表1】子どもの育ちへの支援

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居児童	遊び支援	延人数	59	51	102	176	154	161	194	232	235	212	207	457	2,240
		時間	86	90	203	386	383	242	345	351	448	435	368	1,144	4,481
	学習支援	延人数	6	6	3	6	9	3	33	57	70	53	41	41	328
		時間	4	5	2	6	11	2	18	32	48	28	24	72	252
退居児童	遊び支援	延人数	42	31	29	38	28	21	40	34	38	33	41	54	429
		時間	78	51	41	66	90	31	67	65	68	64	88	119	828
	学習支援	延人数	0	0	3	4	1	3	3	4	4	7	10	4	43
		時間	0	0	6	6	4	9	4	8	5	15	27	8	92

(2) 安心した生活をするための支援 【表2】

母と子が安全で安心して暮らせる「生活の場」の提供を第一の目標とし、以下の支援を行った。

ア 生活の場の提供

近年、施設建物老朽化に伴い、水回りや電気設備等の修繕工事が増えてきている。

今年度は、各居室の水切り棚交換工事、給水ポンプ交換工事など居住環境の整備などの修繕を実施し、居住環境の保全に努めた。

イ 就労支援として渋谷ハローワークによる出張就労相談や、就労の継続のために保育園の登園・降園代行、病児の預かりを行った。

また、家事や休息など母の必要に応じ補助保育を行い、母親の育児負担の軽減を図り、子どもとの生活時間が確保できるように取り組んだ。

ウ 同行支援

入居者の様々な生活課題を解決するために、社会資源の紹介や情報提供をし、必要に応じて専門機関の紹介とその機関への同行支援を行った。

◆ 今年度に同行した専門機関等

○区役所 ○保健相談所 ○病院

【表2】安心した生活をするための支援

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
入居児童	補助保育	延人数	68	68	132	67	66	56	67	57	50	26	38	45	740
		時間	82	66	130	65	83	49	57	99	34	16	29	24	734
	病児保育	延人数	3	1	1	4	0	0	2	1	4	0	0	0	16
		時間	9	1	1	5	0	0	13	1	6	0	0	0	36
	登降園代行	延人数	0	0	2	5	4	2	1	4	3	0	0	0	21

(3) 安定した心身を回復するための支援

心理担当職員2名が交代で月8日勤務している。相談を希望する母親が定着するようになり、継続して面談を実施するケースが増えた。心理担当職員の存在について、入居者の認知が深まっている。また、ケース会議でも心理職として専門的な視点で職員に助言することによりきめ細やかな支援に繋がった。

[心理担当職員の実績]

		延人数(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子ども対応	場面観察	遊び	3	4	11	6	6	6	5	15	16	13	17	16	118
		補助保育	1	4	7	2	2	5	3	3	2	3	5	1	38
母親対応	面接		2	1	2	2	1	1	3	2	4	2	1	4	25
	軽面接		1	1	2	4	2	1	2	1	4	2	1	1	22

(4) 自立に向けての支援

ソーシャルワークの手法による自立支援を以下のプロセスで実施した。

入所前面談⇒入所時面談⇒**自立計画策定**⇒6月合同面接⇒11月面接⇒**自立計画策定**⇒見直しのサイクルで、入居者と共に自立支援計画を立て、自立に向けて支援した。小学生以上の子に対しても入所後に面談を持ち、主に学習に関しては計画を策定し支援した。

(5) 年間行事の実施状況

母や子の社会性を養い、親子の絆を深め、心身のリフレッシュを図ることを目的として各行事を行い、児童の健全育成を図った。児童対象行事は、日本の伝統的な歳時を取り入れた企画で、母親も自由参加とし、親子での楽しい時間を共有できた。また、母親向けの行事にも力を入れ、日常生活から開放される時間の提供を目的としてフラワーアレンジメント、スキンケアの講座などを実施した。

	全体行事	母親対象行事	児童対象行事	その他
4月		全員懇談会	入学・進級を祝う会	定期健診（母親） 防災訓練
5月			子どもの日・母の日を祝う会	防災訓練 居室点検
6月	遠足 よみうりランド	定期面談（合同）		防災訓練
7月			七夕会 夏休みの引率：サーカス	防災訓練 ビタミンミュージック ハローワーク出張相談会
8月			夏休みの引率：ワークショップ（ダンス）、プール、科学技術館 おやつ会	防災訓練
9月	バス遠足 鴨川シーワールド	全員懇談会	お月見会 子ども会	防災訓練
10月			ランチ会 子ども会	定期健診（母子） 防災訓練 消防署職員の指導による救命訓練 キッズ美容室 ハローワーク出張相談会
11月		定期面談 教養講座： 「クリスマスリース」	勤労感謝の日を祝う会 子ども会	防災訓練 居室点検
12月	クリスマス会		子ども会	防災訓練 キッズ美容室
1月	新春顔合わせ会			防災訓練
2月		全員懇談会	節分会 ひな祭り会 子ども会	防災訓練 キッズ美容室
3月		教養講座「スキンケア」	子ども会	防災訓練

(6) アフターケア（退居世帯に対し）

ア 母親支援

退居世帯には、在所中に退居時面談を実施し、退居後の生活についての支援内容を本人とともに検討しアフターケアとして取り組んだ。

退居1年以内の世帯にはクリスマス会に招待して近況を聞く機会としている。今年度は児童対象に実施している「イングリッシュ・ドライブ」や「キッズ美容室」での母親の付き添いや、電話などで交流が増加した。

母親に対しては奨学金制度・都営住宅の募集などの情報提供や心理相談、児童に対しては遊び場や相談先としての場の提供、学習支援などを行い、昨年同様アフターケアで施設を利用する母子が増加した。

[退居者の支援の実績]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	延人数(人)	15	8	1	12	7	3	11	10	10	8	19	11	115
	うち心理担当職員対応(人)	0	1	0	1	3	0	1	0	0	0	3	0	9
	うち心理担当職員対応(時間・分)	0	25	0	25	85	0	25	0	0	0	130	0	290
電話(延人数)		23	39	14	22	29	14	24	23	21	25	36	23	293

イ 子ども支援 【表1】

退居児童も入居児童と区別することなく支援をした。ただし、利用時間は17時までとしている。学習支援は主に小学生から高校生を対象とし、学習ボランティアによる「イングリッシュ・ドライブ」を毎月隔週に実施した。

今年度も母から子ども対応への依頼が多く、訪問・電話対応などできる範囲での対応をした。

(7) 安全・防災管理

災害に対しては、防災訓練を毎月実施し、10月には消防署職員からの実地指導を受けた。一部の入居者ではあるが職員とともに9月の地域防災訓練にも参加した。

施設内には災害発生時に備え、飲料水や食料など備蓄品として管理をしている。入居世帯毎にも緊急持ち出し袋を配置し、有事に備えてもらっている。

また、施設周囲の防犯対策強化の一環として、防犯カメラ2台を増設し、死角をなくすことに成功し、入居者の安心・安全につながる事ができた。

(8) 関係機関と地域の理解・協力

支援関係者との協働ネットワークの構築の一つとして、渋谷区要保護児童対策地域協議会に参加した。また、社会福祉施設には地域との連携や貢献の取り組みが求められているが、今年度も地域の高齢者施設と合同で声楽コンサートを実施した。他全体行事のクリスマス会や声楽コンサートに民生委員等を招待し、事業の実態について理解を深める機会を設け交流を深めた。なお、例年実施している地域交流行事「餅つき会」は、新型コロナウイルス感染症のため開催を中止した。

入居者においては町内会の一員として参加できるお花見会や夏休みのラジオ体操などの町会行事を紹介し、笹塚地区の民生委員が主催している「笹塚ひろば」に子ども

達と参加し、民生委員と連携しながら見守り支援を強化した。

(9) その他

ア ボランティアの受け入れ

ボランティアの協力は事業の質の向上や入居者の安全の確保のために大変効果的であった。しぶやボランティアセンター、大学のサークル、実習受け入れ校などに依頼した。協力者には事前に施設の機能や事業内容についての説明を行い、継続的な参加も得られた。

学習支援ボランティアではNPO法人の協力により小学生から高校生の児童を対象とした「イングリッシュ・ドライブ」の実施が定着し、学習指導ボランティアと受講生との交流が深まった。児童にとって、家族以外の社会人との交流の機会は学習効果とは別に大変意義深いものであった。その他、昨年同様「キッズ美容室」を実施するにあたって、カットボランティアにも協力をしてもらった。

また、施設行事に母親が安心して参加できるような行事開催時の補助保育についても、ボランティアの協力を得られ、各行事とも盛況であった。

	学習指導	教養指導	行事・保育	施設整備	合計
延人数	29人	11人	12人	0人	52人

イ 実習生の受入

社会福祉人材の育成のため、保育士実習生の受入を行った。

保育士養成校：5校

実習生：8名

延実習期間：87日間

4 職員配置（令和2年3月31日現在）

	施設長	母子支援員	少年指導員	合計
正規職員	1人	3人	1人	5人

※ 上記のほか短時間勤務臨時職員あり（少年指導員、心理担当職員）

5 勤務体制

職員は1か月毎の勤務割表により、週平均40時間勤務する。

	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
平日	7:30		—————											16:15				
	8:30		—————											17:15				
	9:00		—————											17:45				
	9:30		—————											18:15				
	10:15		—————											19:00				
	11:15		—————											20:00				
土日	8:30		—————											17:15				

※ 祝祭日・年末年始は休日である。(ただし、5月4日・12月30日・1月2日は勤務した。)

※ 夜間は警備員を配置している。

6 職員研修

(1) 施設外研修

職種	研修内容
母子支援員	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都立精神保健福祉センター：精神保健福祉研修 ・関東ブロック母子生活支援施設協議会：「研究会」 ・東京都社会福祉協議会：母子福祉部会「新任職員研修会」 ・母子福祉部会従事者会：「初任者研修」「研修会」 ・東京都社会福祉協議会：キャリアパス研修 ・東京防災救命協会：上級救命講習 ・福祉経営ネットワーク：「ボランティアマネジメント」 ・渋谷区社会福祉事業団：「施設内虐待」
少年指導員	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都ひとり親家庭支援センター はあと：相談支援員研修会 ・渋谷区社会福祉事業団：「施設内虐待」

渋谷区生活実習所つばさの事業報告

1 事業運営に関する報告

生活介護事業として、利用者の日々の生活、活動支援を中心に事業を推進し、年間事業計画に基づく各種の行事や活動を実施した。また、個別支援計画のもと、日中活動を通じて個々の利用者が必要とする支援を行った。

運営に当たっては、次の基本理念に従い、事業を展開している。

ア 共に生きる社会の一員として利用者の意思と人格を尊重し、自立した個人としての人権を守る。

イ 地域で豊かな社会生活を送るために必要とするサービスを提供する。

ウ 地域に親しまれる開かれた施設づくりを目指す。

2 利用定員 23人

3 事業実施状況

(1) 施設の利用状況 (令和2年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
在籍者数	22人						
支援日数	20日	19日	20日	22日	21日	19日	21日
延出席者	400人	381人	406人	433人	410人	376人	419人
出席率%	90.9%	91.1%	92.3%	89.5%	88.7%	90.0%	90.7%
送迎バス	21人						

	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
在籍者数	22人	22人	22人	22人	22人	平均在籍者数	22人
支援日数	20日	20日	19日	18日	21日	支援日数計	240日
延利用者	400人	410人	371人	356人	414人	延出席者数	4,776人
出席率%	90.9%	93.2%	88.8%	89.9%	89.6%	平均出席率	90.5%
送迎バス	21人	21人	21人	21人	21人	平均乗車人数	21人

※ 在籍中ではあるが、1年間利用のない者1人(家族の事情により他県で生活のため)

※ 休業日 土曜日及び日曜日と国民の祝祭日、年末年始(12月29日から1月3日)

(2) 利用者の年齢と性別 (令和2年3月31日現在)

	～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～	合計	平均
男性	2人	1人	2人	3人	3人	2人	13人	31.1歳
女性	0人	3人	0人	1人	2人	3人	9人	33.1歳
合計	2人	4人	2人	4人	5人	5人	22人	31.9歳

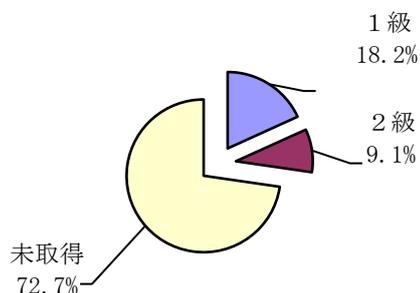
(3) 利用者の障害程度 (令和2年3月31日現在)

障害支援区分

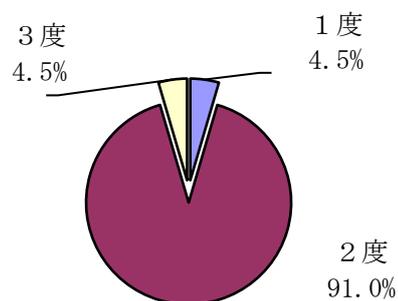
	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計
男性	7人	6人	0人	0人	0人	0人	13人
女性	4人	3人	2人	0人	0人	0人	9人
合計	11人	9人	2人	0人	0人	0人	22人

区分		身体障害者手帳				合計
		1級	2級	3級	未取得	
愛の手帳	1度	0人	0人	0人	1人	1人
	2度	3人	2人	0人	15人	20人
	3度	1人	0人	0人	0人	1人
	4度	0人	0人	0人	0人	0人
	未取得	0人	0人	0人	0人	0人
合計		4人	2人	0人	16人	22人

身体障害者手帳取得状況



愛の手帳取得状況



(4) 入所前の状況（令和2年3月31日現在）

学校在学		他の福祉施設	在宅	合計
中学校	特別支援学校			
1人	17人	4人	0人	22人

(5) 年間行事実施状況

※ P T : 理学療法士、S T : 言語聴覚士

月別	行 事	講 師	安全衛生	その他
4月	誕生会	音楽療法、運動、創作、 機織、機能訓練、S T	健康診断、検便 内科・精神科検診	家族会
5月	誕生会	音楽療法、運動、美術、 機織、機能訓練、S T	内科・精神科検診	
6月	梅雨のお茶会 バスハイク	音楽療法、運動、創作、 機織、機能訓練、S T	内科・精神科検診	個人面談実施
7月	七夕・浴衣会 誕生会	音楽療法、運動、美術、 機織、機能訓練、S T	内科・精神科検診	家族会
8月	誕生会	音楽療法、運動、美術、 機織、機能訓練、P T	内科・精神科検診	
9月	誕生会	音楽療法、運動、創作、 機織、機能訓練、P T	歯科検診 内科・精神科検診	
10月	誕生会 つばさまつり	音楽療法、運動、美術、 機織、機能訓練、S T、 P T	内科・精神科検診 検便	家族会
11月	誕生会 ランチパル (グループで外食)	音楽療法、運動、創作、 機織、機能訓練、S T、 P T	内科・精神科検診 インフルエンザ予防 接種	パラバドミントン 観戦(家族参加)
12月	誕生会 クリスマス会	音楽療法、運動、美術、 機織、機能訓練、S T、 P T	内科検診	クリスマス会 (家族参加行事)
1月	新年・成人を祝う会 誕生会	音楽療法、運動、創作、 機織、機能訓練、S T、 P T	内科・精神科検診	新年・成人を祝う会 (家族参加行事)
2月	節分 誕生会	音楽療法、美術、機織、 機能訓練、S T、P T	内科・精神科検診	家族会
3月	誕生会、お花見、納 め会	P T 他外部講師なし	内科・精神科検診	

(6) 活動の実施状況

本人、家族、代理人、関係機関との時間をかけた支援調整会議の実施により策定した個別支援計画に沿って支援を実施した。活動では、構造化した利用者の理解しやすい環境設定をすることで、穏やかな日中活動の実施が可能となった。

項目	内容
健康に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断を実施した。 ・歯科検診を実施した（歯科通院困難者対象）。 ・内科医、精神科医による検診を月1回実施した。 ・インフルエンザ予防接種を実施した。 ・昼食時服薬の管理と服用支援を行った。 ・月1回の体重測定を行った。 ・栄養士による栄養相談（今年度相談件数0件）。 ・言語聴覚士による口腔機能改善のための助言を受けた。 ・理学療法士による身体機能維持に向けての助言・指導を受けた。 ・リンパマッサージやしもやけ対策の足湯等を必要な方に実施した。
日常生活に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活動作機能維持向上のために機能訓練とストレッチ体操を実施した。 ・食事、排泄、着脱衣等の生活動作の介助、支援を行った。
コミュニケーション・対人関係に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活における基本的な約束事（順番、自他の所有物の区別等）を理解し行動できるように支援した。 ・個を大事にしながらも、「みんなの中の一人」としての行動が出来るように支援した。 ・自傷や他害行為の減弱に向けての支援を実施した。
日中活動・社会参加に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ビーズ、機織、和紙、創作活動を通じて楽しみながら、集中力や達成感を得られるように支援した。 ・製パン活動において、一般販売と共に区内のこども園や保育園へのアレルギー用のパンを納品した。 ・「つばさまつり」において製品などを販売し、収益を支給金として利用者に還元した。 ・講師による音楽療法（月1回）では、音楽を通して情緒的安定や音楽を楽しむ一助となるような動きを取り入れた。 ・講師（月1回）による指導のもと皆で参加するものと、個々の利用者の特性を配慮しての活動を実施した。 ・プール活動は、職員とプール・サポーターの引率により、毎週2～3人の利用者が水、金曜日午後に参加した。 ・午後は利用者個々の体力や体調に合わせ、日向ぼっこから2km程度のウォーキングを実施した。 ・所内外行事を年間計画に沿って実施した。
生活基盤・家族支援に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への昼食サービスを提供した。 ・利用希望者を対象に送迎バスによるサービスを実施した。 ・緊急一時保護施設利用時の送迎バスサービスを実施した。 ・家族が安心して利用できるように保護施設や居宅介護事業所との綿密な連絡を図り、利用者の健康や安全、情緒の安定に配慮した。 ・家族との個別面談を実施した。

4 その他

(1) 地域に親しまれる開かれた施設の活動として、高齢者への昼食提供を含めて、ボランティアを積極的に受け入れた。（令和2年3月31日までの1年間）

	活動：1日	活動：半日	プール活動	行事	合計
延人数	143人	102人	24人	23人	292人

(2) 人材育成に寄与することを目的に、資格取得のための演習・実習を受け入れた。

また、進路選択のための特別支援学校の実習およびPTA役員13名の見学を受け入れた。

実習種別	体験実習 (特別支援学校施設、家庭)	教員免許のための介護体験	合計
延人数	2人	15人	17人

5 職員研修

チームリーダー職員育成のために、人権研修Ⅰ・Ⅱ、危機管理、成年後見人・障害者年金制度、意思決定・権利擁護・虐待防止、チーム作りに関する研修に参加し、多様化する利用者への対応可能を目指して、てんかん発作、水中毒、医療スタッフ向けの研修含めて延べ15回参加した。また、全職員を少人数グループに分けて虐待防止に関する所内研修を3回実施した。

1月末より年度末までは、新型コロナウイルス感染症予防のため、予定していた研修への参加を中止とした。

6 施設管理に関する報告

(1) 建物・設備等の維持管理

建物・設備・機器類については、必要に応じて保守業者等に委託し、常に整備点検を行うとともに、良好な施設環境に努めた。しかしながら、煙感知器の誤作動による消防車出動の事態が複数回、扉の不具合、電化製品の故障など建物及び備品の老朽に伴う補修作業が増加した。

(2) 防災体制

消防設備・器具の定期点検及び防災教育の徹底を図るために、年間防災計画に基づく避難訓練、引取訓練を行った。防災会議を開催した。

グループ活動で外出している際に、災害(地震)が起こった場合を想定しての通報訓練も取り入れた。

4月	通報訓練・避難訓練(地震想定)、防災備蓄を使用した調理実習
7月	避難訓練(火災想定)
8月	避難訓練(地震想定)、防災備蓄を使用した調理実習
9月	災害用伝言ダイヤル(家庭向け)、防災備蓄を使用した調理実習 外出時通報訓練・避難訓練(地震想定)
11月	避難訓練・バス乗込み訓練(火災想定)
2月	避難訓練(火災想定)

7 職員配置（令和2年3月31日現在）

	施設長	事務	生活支援員	栄養士
正規職員	1人	1人	6人	
非正規職員			4人	1人
	看護師	合計	総合計	
正規職員		8人	14人	
非正規職員	1人	6人		

※ 生活支援員のうち1人はサービス管理責任者

※ 上記のほかに短時間勤務臨時職員あり（生活支援員・栄養士・調理）

8 勤務体制

勤務体制は、午前8時30分から午後5時15分までである。

渋谷区立幡ヶ谷授産場の事業報告

I 幡ヶ谷授産場

1 事業運営に関する報告

幡ヶ谷授産場は、社会福祉法に基づき設置された授産施設である。施設の設置主旨に従い、高齢者や低所得者に対して仕事と場所を提供し、安全かつ効率的に作業ができるように指導した。このことを通して、利用者の生活の安定と生きがいを得られるように配慮して運営した。

また、作業に関しては、次のような点に留意した。

- (1) 危険性、有害性、不快感がなく、安全であること
- (2) 作業内容が複雑でなく短時間で習得できること
- (3) 作業内容に含まれている個人情報等の漏洩を防止すること
- (4) 作業が肉体的に過重な負担とならないこと

2 利用定員

◆ 場内作業利用定員 30人

3 利用者の内訳（令和2年3月31日現在）

利用資格	簡易作業		
	場内	居宅	計
60歳以上の者	20人	—	20人
(うち生活保護受給者)	(1人)	—	(1人)
低所得者	1人	—	1人
計	21人	—	21人

4 作業状況（令和2年3月31日現在）

作業種別	場内			居宅			計		
	在籍人数	延実働人数	年間工賃支払額	在籍人数	延実働人数	年間工賃支払額	在籍人数	延実働人員	年間工賃支払額
簡易作業	21人	248人	20,408,290円	0人	0人	0円	21人	248人	20,408,290円

5 防災体制

消防計画に基づき、渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所と連携し、総合防災訓練を行った。

6 職員配置（令和2年3月31日現在）

	施設長	事務	職業指導員	合計	総合計
正規職員	1人	1人	1人	3人	7人
非正規職員			4人	4人	

7 勤務体制

職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分までである。

8 福利厚生

(1) 嘱託医による健康相談

(2) バス旅行によるレクリエーション

◆ 実施日 令和元年10月4日（金）

◆ 場所 ふる里ぶどう園、道の駅うつのみや ろまんちっく村

◆ 参加人数 22人

II 幡ヶ谷のぞみ作業所

1 事業運営に関する報告

幡ヶ谷のぞみ作業所は、令和元年10月1日に障害者総合支援法に基づく「就労継続支援B型」作業所になった。今まで行ってきた生産活動及び創作活動等の提供とともに、障害特性に配慮した作業方法の工夫や近所への買い物訓練など住み慣れた地域で安心して生活するための支援を行っている。

2 利用定員

20人

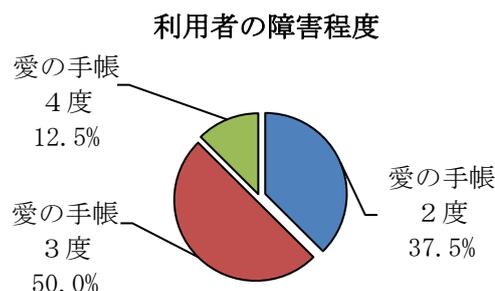
3 利用状況

(1) 利用者の年齢と性別（令和2年3月31日現在）

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	合計	平均
男性	1人	2人	7人	0人	0人	0人	10人	39.4歳
女性	1人	2人	1人	1人	1人	0人	6人	43.0歳
計	2人	4人	8人	1人	1人	0人	16人	40.8歳

(2) 利用者の障害程度（令和2年3月31日現在）

	愛の手帳			合計
	2度	3度	4度	
男性	4人	5人	1人	10人
女性	2人	3人	1人	6人
計	6人	8人	2人	16人



※上記愛の手帳3度持参の男性1名は身体障害2級と重複

4 作業状況（令和2年3月31日現在）

作業種別	従事人数	延実働人数	年間工賃支払額
簡易作業	16人	184人	3,636,937円
公園清掃	(16人)	(184人)	1,060,506円
シブヤフオント	(14人)	(42人)	43,750円
計	16人	184人	4,741,193円

5 年間行事実施状況

利用者相互の親睦を図るとともに、自主・自立の心を育成してゆくため以下のとおり年間行事を実施した。

	行 事
4月	療育音楽会・誕生会・共遊球技・ハーモニカ演奏会・自然探索会（西原せせらぎ公園）・歓迎会・健康診断
5月	療育音楽会・誕生会・共遊球技・ハーモニカ演奏会・日帰りバス旅行（大多摩ハム工場・昭和記念公園）
6月	療育音楽会・共遊球技・ハーモニカ演奏会・ランチ会（3グループに分かれて近隣の飲食店を利用）
7月	療育音楽会・誕生会・共遊球技・ハーモニカ演奏会・カラオケ大会・無料髪カット（希望者のみ、美容師ボランティア来所実施）
8月	共遊球技・ハーモニカ演奏会・お茶会
9月	療育音楽会・誕生会・共遊球技・ハーモニカ演奏会・Tボール大会（渋谷区スポーツセンター）・さおり織り・「ハーモニカで歌おう（地域交流）」に参加
10月	療育音楽会・共遊球技・ハーモニカ演奏会・日帰りバス旅行（ミュージアムパーク茨城県自然博物館）・「ハーモニカで歌おう（地域交流）」に参加・インフルエンザ予防接種（希望者のみ）
11月	療育音楽会・誕生会・共遊球技・ハーモニカ演奏会・障害者連合会運動会（渋谷区スポーツセンター）・「ハーモニカで歌おう（地域交流）」に参加・さおり織り
12月	療育音楽会・誕生会・共遊球技・ハーモニカ演奏会・納め会・「ハーモニカで歌おう（地域交流）」に参加
1月	療育音楽会・誕生会・共遊球技・ハーモニカ演奏会・初詣・新年お茶会・さおり織り・「ハーモニカで歌おう（地域交流）」に参加・栄養のお話（栄養士来所）

2月	療育音楽会・誕生会・共遊球技・ハーモニカ演奏会・ボウリング大会（笹塚ボウル）・虫歯を防ぐ歯の手入れ（歯科衛生士来所）
3月	療育音楽会・共遊球技・ハーモニカ演奏会・お疲れ様会

共遊球技、ハーモニカ演奏会、さおり織り、新年お茶会はボランティアを招いて実施した。

保護者会	年間3回（4月、9月、2月）
------	----------------

※ 6月には保護者面談会を実施した。

6 防災体制

渋谷区立幡ヶ谷授産場と連携して総合避難訓練を実施した。

7 職員配置（令和2年3月31現在）

	施設長（兼務）	職業指導員	生活支援員	合計	総合計
正規職員	1人	1人	1人	3人	7人
非正規職員		2人	2人	4人	

※ 渋谷区立幡ヶ谷授産場の施設長が、渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所の施設長を兼務する。

※ 生活支援員のうち1人はサービス管理責任者。

8 勤務体制

職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分までである。

9 健康管理

年1回の健康診断を実施した。

嘱託医による月1回の健康相談を実施した。

渋谷区立新橋作業所の事業報告

1 事業運営に関する報告

新橋作業所は、渋谷区条例に基づき、障害者及び高齢者等の福祉の増進に寄与するために設置された作業所である。

障害者を対象とした「障害者総合支援法」に基づく指定障害福祉サービス事業所として、就労継続支援B型事業を行っている。また、併せて、高齢者等を対象とした物品の受託加工等事業を行っている。

利用契約した障害者及び利用承認された高齢者等の方に、就労機会の提供等を行うことにより、その自立を助け、生活の安定を図ることを目標に運営した。

また、作業に関しては、次の事柄に配慮した。

- (1) 危険性、有害性等がなく、作業が安全であること
- (2) 加工材料に含まれている個人情報等の漏洩を防止すること
- (3) 障害等の程度に応じて作業の質、量の配分をすること
- (4) 納期を確実に履行すること

2 利用定員

- ◆ 障害者 25人
- ◆ 高齢者等 10人

3 利用者状況

(1) 利用者の内訳（令和2年3月31日現在）

利用資格	人数	人数の内訳	
障害者	20人		
高齢者等	8人	60歳以上の者	7人
		低所得者	1人
		区長が適当と認めた者	0人
計	28人		

(2) 利用者の年齢と性別

	18～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 ～	合計	平均
男性	0人	1人	1人	3人	2人	2人	0人	9人	57.9歳
女性	1人	3人	2人	3人	2人	4人	4人	19人	59.7歳
合計	1人	4人	3人	6人	4人	6人	4人	28人	59.1歳

(3) 利用者の障害程度

		身体障害者手帳					合計
		1級	2級	3級	4級	なし	
愛 の 手 帳	2度						0人
	3度					4人	4人
	4度		1人	1人	1人	11人	14人
	なし	1人		1人			2人
合計		1人	1人	2人	1人	15人	20人

4 作業状況（令和2年3月31日現在）

作業種別	在籍人数	延実働人数	年間工賃支払額
簡易作業	28人	316人	15,609,746円

5 防災体制

消防計画に基づき、年2回（6月、2月）の避難訓練を実施し、新橋区民施設の総合訓練（10月）に参加した。

6 職員配置（令和2年3月31日現在）

	施設長	事務	職業指導員	生活支援員	合計	総合計
正規職員	1人	1人	1人	2人	5人	9人
非正規職員			2人	2人	4人	

※ 生活支援員のうち1人はサービス管理責任者

※ 上記のほかに短時間勤務臨時職員あり（職業指導員）

7 勤務体制

職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分までである。

8 福利厚生

(1) 嘱託医による健康相談を毎月2回実施

(2) レクリエーション行事の実施

◆ バス旅行

- ・ 実施日 令和元年10月11日（金）
- ・ 行事内容 カップヌードルミュージアム（横浜）、横浜中華街
- ・ 参加人数 27人

◆ その他 新年食事会（参加人数 35人）

認定こども園・保育園の事業報告

事業団は、渋谷区の待機児童の解消に寄与するとともに、「良質な保育、幼児教育」を保障し、就学前のすべての子どもが「基礎的な生活習慣や社会性、礼儀」を身につけ、学習の基礎となる「好奇心、探究心、思考力や豊かな感性」の涵養を図り、次世代を育成するという渋谷区の重点施策に応えるために、保育所型認定こども園「神宮前あおぞらこども園」「本町きらきらこども園」「恵比寿のびのびこども園」「本町そよかぜこども園」の4園及び認可保育所「神宮前保育園にじ」「西原保育園ゆめ」の2園を運営している。

事業団が運営するこども園や保育園では、入園児すべてに「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「渋谷区幼児教育プログラム」等に基づいた良質な保育・教育の提供を一体的に行っている。

子育て支援事業「ひろば事業」は7年目を迎え、一時保育、子育て広場、体験給食、子育てに関する講演会、講習会の実施、相談などを行い、参加者も増え成果をあげた。

現在、保育現場が抱える大きな課題として、保育士の人材を確保して育成すること、保育園を見える化するなどがあげられる。これらに対応するため、事業団では例年7月に渋谷区が開催する合同就職説明会に参加しているほか、大学の授業において事業団の保育についての説明や、また、面接指導も行うなどして学校とのつながりを大切にしてきた。

I C T化については、平成29年度の連絡帳アプリの導入に引き続き、平成30年度は事務作業等を効率化する保育管理業務システムや、0歳児クラスにはうつぶせ寝に反応するベビーセンサー、令和元年度はカメラマン派遣と写真のインターネット販売を全園で導入した。

また、事業団の保育人材確保、定着及び離職防止を図るため、平成28年度より保育従事職員宿舍借上げ支援事業を開始し、令和元年度は36人の職員が利用した。

さらに、平成29年度から始めた海外研修について、平成30年度及び令和元年度はイタリアのレッジョ・エミリア市を訪問し、国内においても応答的保育、夜間保育等を先駆的に実施している保育施設を視察するなどの研修も行った。

1 職員採用

第1次募集	筆記試験	令和元年9月7日
	面接・実技試験	令和元年10月24日～10月26日
第2次募集	筆記試験	令和元年11月9日
	面接・実技試験	令和元年11月9日・15日

※ 応募者47人、受験者42人、採用者13人

令和2年4月1日付採用者 13人（保育士）

2 園児定員

(1) 神宮前あおぞらこども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	18人	20人	20人	20人	20人	108人
1号認定児				5人	5人	5人	15人
計	10人	18人	20人	25人	25人	25人	123人

(2) 本町きらきらこども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	18人	20人	20人	20人	20人	108人
1号認定児				4人	6人	5人	15人
計	10人	18人	20人	24人	26人	25人	123人

(3) 恵比寿のびのびこども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	18人	20人	20人	20人	20人	108人
1号認定児				2人	4人	4人	10人
計	10人	18人	20人	22人	24人	24人	118人

(4) 本町そよかぜこども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	18人	20人	20人	20人	20人	108人
1号認定児				6人	4人	3人	13人
計	10人	18人	20人	26人	24人	23人	121人

(5) 神宮前保育園にじ (長時間保育のみ)

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児		8人	10人	10人	12人	10人	50人

(6) 西原保育園ゆめ (長時間保育のみ)

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	16人	20人	20人	20人	20人	106人

※ 2号・3号認定児は長時間保育利用児。1号認定児は短・中時間保育利用児。

3 在籍数の推移

(1) 神宮前あおぞらこども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	104人	105人	105人	105人	108人	108人
1号認定児	15人	13人	13人	14人	14人	14人
計	119人	118人	118人	119人	122人	122人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	107人	106人	107人	108人	108人	108人	1,279人
1号認定児	14人	15人	15人	15人	15人	15人	172人
計	121人	121人	122人	123人	123人	123人	1,451人

(2) 本町きらきらこども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	108人	108人	108人	108人	108人	108人
1号認定児	11人	11人	11人	11人	11人	11人
計	119人	119人	119人	119人	119人	119人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	108人	108人	107人	107人	107人	107人	1,292人
1号認定児	11人	11人	11人	11人	11人	11人	132人
計	119人	119人	118人	118人	118人	118人	1,424人

(3) 恵比寿のびのびこども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	103人	108人	108人	108人	108人	108人
1号認定児	9人	9人	9人	9人	9人	9人
計	112人	117人	117人	117人	117人	117人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	108人	108人	108人	108人	108人	108人	1,291人
1号認定児	9人	9人	9人	9人	9人	9人	108人
計	117人	117人	117人	117人	117人	117人	1,399人

(4) 本町そよかぜこども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	107人	107人	107人	107人	108人	108人
1号認定児	14人	14人	14人	14人	14人	14人
計	121人	121人	121人	121人	122人	122人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	108人	108人	108人	108人	108人	108人	1,292人
1号認定児	14人	14人	14人	14人	14人	14人	168人
計	122人	122人	122人	122人	122人	122人	1,460人

(5) 神宮前保育園にじ

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	48人	47人	47人	47人	46人	45人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	44人	44人	45人	46人	46人	46人	551人

(6) 西原保育園ゆめ

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	101人	104人	105人	106人	105人	106人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	105人	105人	105人	105人	105人	104人	1,256人

4 職員配置（令和2年3月31日現在）

施設	職種	園長	事務	看護師	保育士	用務	合計	総合計
あおぞら	正規職員	1人		1人	21人		23人	33人
	非正規職員				8人	2人	10人	
きらきら	正規職員	1人		1人	23人		25人	35人
	非正規職員		1人		8人	1人	10人	
のびのび	正規職員	1人		1人	25人		27人	35人
	非正規職員		1人		6人	1人	8人	
そよかぜ	正規職員	1人		1人	23人		25人	33人
	非正規職員				7人	1人	8人	
にじ	正規職員	1人			9人		10人	14人
	非正規職員				3人	1人	4人	
ゆめ	正規職員	1人		1人	19人		21人	26人
	非正規職員				4人	1人	5人	
計	正規職員	6人		5人	120人		131人	176人
	非正規職員		2人		36人	7人	45人	

※ 正規職員の保育士のうち育休取得中が5人、産休取得中が4人

※ 非正規職員の事務のうち1人はきらきらとゆめを兼務

※ 上記のほかに短時間勤務臨時職員あり（事務、保育士）

5 勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間勤務する。

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23													
保育士	A							7:25	—————																16:10													
	B							7:45	—————																16:30													
	C							8:00	—————																16:45													
	平常							8:30	—————																17:15													
	D							9:00	—————																17:45													
	E							9:30	—————																18:15													
	F							10:00	—————																18:45													
	G								11:00	—————																19:45												
H										12:00	—————																20:45											
看護師	平常							8:30	—————																17:15													
用務	平常							8:30	—————																17:15													

※ にじ及びゆめは19時45分で勤務終了のため、Hの勤務区分は適用なし。

6 年間行事実施状況

日本の伝統文化の継承や季節に合わせた行事を取り入れ、年間の行事を計画し実施した。主な行事は、地域の子育て中の親子も参加できるように、町会の掲示板などにポスターを掲示した。また、毎月誕生会を計画し、その月の誕生児を全員でお祝いした。

(1) こども園・保育園の共同年間行事

	行事名	ねらい	内容
4月	入園進級お祝い会	<ul style="list-style-type: none"> 新しい友達を知る。 入園、進級を喜び、みんなでお祝いをする。 	<ul style="list-style-type: none"> クラス、子ども、職員の紹介 お楽しみの催しもの(パネルシアター・紙芝居など)
5月	こどもの日の集会	<ul style="list-style-type: none"> こどもの日の由来を知る。 友達と一緒に体を動かし、ゲームを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> クラスの製作物紹介 体操、ゲームなど
7月	縁日ごっこ夏まつり	<ul style="list-style-type: none"> 親子で縁日ごっこに参加し、地域の人と一緒に楽しく過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> 手づくりおもちゃコーナー お店屋さん、レストラン 盆踊り 夕方または土曜日に実施
	七夕の集会	<ul style="list-style-type: none"> 七夕について知り、楽しんで集会に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 七夕の由来 パネルシアター
	プール開き	<ul style="list-style-type: none"> プールでの約束事を知る。 プール遊びを友達と楽しむことに期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> 演劇鑑賞 体操、ゲーム
8月	すいか割り	<ul style="list-style-type: none"> すいか割りをみんなで楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 乳児、幼児に分かれてすいか割り

10月	運動会	<ul style="list-style-type: none"> 親子で体を動かし、楽しい1日を過ごす。 一人ひとりの子どもが力を発揮し、みんなで成長を喜び合う。 	<ul style="list-style-type: none"> オープニング 体操、競技、遊戯 地域競技
	バス遠足 (3歳～5歳)	<ul style="list-style-type: none"> 秋の自然の中で園外保育を楽しむ。 秋の自然を感じながら芋ほりを楽しむ。 他園の友達とバス遠足を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 行き先は昭和記念公園、荒幡農園など 実施日が雨天の場合は、水族館などに変更
12月	幼児親子お楽しみ会	<ul style="list-style-type: none"> 歌や劇ごっこなど、年齢ごとにねらいを持ち表現する。 保護者に見守られながら表現遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表会 職員による出し物 園児、保護者、職員のみinnで楽しんだ
	年末こども会	<ul style="list-style-type: none"> 集会を楽しみ、クリスマスの雰囲気味わう。 会食、おやつを異年齢児と過ごすことで交流を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 集会、会食 キャンドルサービス クリスマスの製作の紹介 サンタからお楽しみプレゼント
1月	新年子ども会	<ul style="list-style-type: none"> 新しい年の始まりを祝う。 お正月遊びや伝承遊びを知り楽しむ。 もちつきを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 集会、獅子舞 十二支の由来 年長による書き初め お正月遊び
2月	節分	<ul style="list-style-type: none"> 節分について知る。 豆まきを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 節分の由来 ゲーム、豆まき
3月	ひな祭り	<ul style="list-style-type: none"> ひな祭りについて知る。 お茶会や会食を通じて、異年齢児の交流を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ひな祭りの由来 集会、ゲーム お雛様の製作紹介 会食、お茶会
	お別れ遠足	<ul style="list-style-type: none"> 春の訪れを感じ、異年齢の友達と一緒に遊ぶ。 みんなで楽しい思い出を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 各クラス年長児との触れ合い遊び 幼児クラスオリエンテーリング 行き先は代々木公園などで、雨天の場合は園内に変更
	就学お祝い会	<ul style="list-style-type: none"> 年長児をみんなで祝う。 就学に期待を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、地域、来賓、在園児で就学のお祝い 年長児の保護者体験給食
	お別れ会	<ul style="list-style-type: none"> 卒園、退園する園児や異動、退職する職員とお別れをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 卒園、退園する園児や異動、退職する職員を紹介

※ 3月の行事について、従前は表中のように実施していたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりお別れ遠足は中止し、ほかの行事も規模を縮小して実施した。

上表のほか、敬老の日は在園児の祖父母に園から敬老カードを送付し、地域の高齢者との交流も行った。

1月または2月に乳児の親子お楽しみ会を行い、保育参観、保育参加体験給食及び保国会を行った。

その他、リサイクルバザー、おばけ大会、芋煮会（のびのび）などを行った。

(2) 小学校等の連携について

各園とも就学に向けてのオープンスクールに参加した。神宮前あおぞらこども園は神宮前小学校に4回、本町きらきらこども園は渋谷本町学園小学校に4回、恵比寿のびのびこども園は長谷戸小学校に4回、本町そよかぜこども園は渋谷本町学園小学校

に9回、神宮前保育園にじは神宮前小学校に6回、西原保育園ゆめは西原小学校に4回参加した。

<主な内容>

テーマ	内 容
学校訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校がどんな場所なのかを実際に見学、探検した。 ・通学路を確認した。
1年生と一緒に学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・机や椅子の大きさを体験した。 ・音楽、国語、算数、英語、体育、図工などの授業を見学し参加した。 ・図書室で読書をした。
体育館で遊ぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな体育館で、運動遊びをした。
プールで遊ぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の大きなプールで安全に泳いだ。
体験給食	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の給食の形態や食器の違い、給食時間などを体験した。 ・栄養士の話聞いた。
様々な行事に参加する	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会、学芸会、作品展、パレードを見学した。
放課後クラブ訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後クラブを体験した。
園訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園や保育園に小学生が訪問した。 ・小学校の先生より保護者会で就学に向けての説明を受けた。

(3) 地域、高齢者との交流

神宮前あおぞらこども園は、5歳児が事業団内の特別養護老人ホーム「渋谷区美竹の丘・しぶや」に訪問し、高齢者とともに歌の披露や手遊びなどで交流を図った。

本町きらきらこども園及び本町そよかぜこども園は、本町地域の清掃活動に園児とともに参加した。5歳児が定期的に「サロン・さくら本町」にて高齢者と交流し、歌の披露やふれあい遊び等をして喜ばれている。

本町きらきらこども園の4歳児は、平成30年9月に開設した特別養護老人ホーム「つばめの里・本町東」を月1回訪問するなどの交流を始めた。恵比寿のびのびこども園は、毎月定期的にまたは行事ごとに、地域のシニアクラブ「喜楽会」の方との交流を行っている。また、園の地域コーディネーターの地域とのつながりを活用して、恵比寿ガーデンプレイスやビルの屋上で田植えや野菜づくりを行った。

神宮前保育園にじは、園児の祖父母や近隣の方を対象に「いっしょにあそぼうのかい」を行い42人の参加があった。その際、乳児については保育園給食を試食する体験給食会も実施し8人が参加した。西原保育園ゆめは、5歳児が「総合ケアコミュニティ・せせらぎ」のデイサービス利用者との交流を5回行った。

各園とも町会に加入し、町会の清掃活動などに参加した。町会の行事（お祭り・ハロウィン・運動会など）を保護者に知らせ、参加を促している。本町そよかぜこども園はフレンズ本町と複合施設であるため、それぞれのイベント情報を周知するなど連携を図っている。

(4) こども園・保育園での体育指導

- ・子どもの健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。
- ・子どもの保育にあたる職員が、安全な体育指導の方法を学ぶ。
- ・毎日、短い時間でも体を動かすプログラムを取り入れ、楽しく参加する。

上記3つの目的を持ち、株式会社渋谷サービス公社の体育指導員に指導を依頼しているが、体力向上の効果が見られたため、平成29年度からは全園で毎月1回実施した。

その成果を発表する機会について、神宮前あおぞらこども園、神宮前保育園にじ、恵比寿のびのびこども園は長谷戸小学校、本町きらきらこども園、本町そよかぜこども園、西原保育園ゆめはフレンズ本町アリーナを会場として1月に実施した。発表会は、日頃の体育指導で行う柔軟体操、数人が気持ちを一つにして取り組む組体操、ダンスなどを披露して各園の年長児の交流にもつながった。長谷戸小学校は214人、フレンズ本町アリーナは287人と昨年度よりも参加人数が増えた。

[実施対象]

4歳児・5歳児 計253人

[令和元年度のねらい]

- ・子どもの運動能力を高める。
- ・体の巧みさが増す幼児期に、専門指導員が指導することにより、運動能力の発達向上を目指し、子ども達の運動欲求を満たす。

月	各月のねらい	内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくり運動の見本を見る。 ・跳び箱を練習する。 ・ダンスを始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体調確認とサーキットの進捗確認 ・ダンスと身体づくり体操による準備 ・組体操における一人技の確認 ・跳び箱（ゲージャンプ、パーチャーター、開脚飛び）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスをする。（発表会の導入） ・組体操をする。（1人技復讐・4人技導入） ・鉄棒・マット運動をする。（逆上がり） 	<ul style="list-style-type: none"> ・体調確認とサーキットの進捗確認 ・ダンスによる準備 ・組体操における1人技の復習、4人技の導入 ・鉄棒（足抜き、つばめ、鼻つけ等） ・マット（前転、開脚）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスをする。（発表会の導入） ・組体操をする。（1人技復讐・4人技導入） ・跳び箱をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体調確認とサーキットの進捗確認 ・ダンスによる準備 ・組体操における1人技・4人技の復習 ・跳び箱（ゲージャンプ、パーチャーター、開脚飛び）
7月 8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスをする。（発表会の導入） ・組体操をする。（1人技復讐・4人技導入） ・プールの指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体調確認とサーキットの進捗確認 ・ダンスによる準備 ・組体操における1人技・4人技の確認 ・水遊びを中心とした水泳技術向上

9月	・各園の運動会種目の達成度を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・体調確認と準備体操 ・組体操における1人技・4人技の確認 ・新しいダンスの振り入れ ・運動会種目の練習
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会種目の達成度を高める。 ・体力測定の強化練習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体調確認とダンスの新しい振り入れと移動 ・身体づくりの細部の仕上げ ・技のメリハリを意識した組体操 ・運動会の練習、体力測定の強化練習
11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・年長は、発表会に向けて仕上げを行う。 ・年中は、体操教室に慣れて楽しく参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> (年長) ・体調確認と複数種目の身体づくり ・組体操の1人技・4人技（流れを止めない） ・ダンスの隊形移動 (年中) ・体調確認とスキップ・ケンケン等の身体づくり ・足抜き回り等の鉄棒 ・でんぐりポーズ等のマット
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・年長は、発表会に向けた通し練習を行う。 ・年中は、身体づくり、鉄棒、マットを楽しく行う。 	<ul style="list-style-type: none"> (年長) ・発表会に向けた通し練習 (年中) ・体調確認とスキップ・ケンケン等の身体づくり ・足抜き回り等の鉄棒 ・でんぐりポーズ等のマット
2月	・年長、年中とも体力測定を行う。	・体力測定（立ち幅跳び・ボール投げ等）
3月	・新年度に向けた準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> (年中) ・身体づくりサーキットを体験する。

(5) 体力測定

株式会社渋谷サービス公社の体育指導員に協力を依頼して、各園の園児4歳児、5歳児を対象に2月に体力測定を行った。その結果を活用し、体育指導では体幹を鍛える運動を取り入れるなどして運動能力の発達向上を目指した。

7 ひろば事業

神宮前あおぞらこども園、本町きらきらこども園、恵比寿のびのびこども園及び本町そよかぜこども園において、一時保育（利用時間は4時間または8時間、1か月に1人10回まで利用可能）及び子育てひろば（体験給食、子育てに関する講演会、講習会の実施、相談、身体計測など）を行った。

神宮前保育園にじ及び西原保育園ゆめは運営に支障のない範囲で、見学や体験給食などを行った。

(1) 一時保育の利用

利用者合計数を前年度と比較すると、新型コロナウイルス感染症の影響により3月の利用が落ち込み、全体で130人の減少となった。

利用の理由は、例年のとおり「リフレッシュ」「子どもが集団生活に慣れるため」「病院受診のため」「学校行事」が上位を占めているが、昨年度に比べると人数は減っている。

0～2歳児の利用が多く、全体の87%となっている。全体を見ると4時間利用者が67%、8時間利用者が33%となっている。

ア 登録者・利用者（上段は登録者、下段は利用者）

施設	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	4時間利用	8時間利用
あおぞら	60人	27人	14人	10人	5人	3人	119人		
	387人	273人	177人	103人	35人	19人	994人	751人	243人
きらきら	34人	24人	16人	8人	2人	11人	95人		
	299人	207人	160人	110人	6人	48人	830人	514人	316人
のびのび	22人	40人	17人	10人	7人	7人	103人		
	148人	390人	374人	34人	42人	26人	1,014人	630人	394人
そよかぜ	37人	24人	16人	6人	5人	2人	90人		
	295人	327人	190人	31人	13人	1人	857人	583人	274人
計	153人	115人	63人	34人	19人	23人	407人		
	1,129人	1,197人	901人	278人	96人	94人	3,695人	2,478人	1,227人

イ 地域別登録者数

神宮前あおぞらこども園は神宮前地域が一番多く、119人のうち51人を占めている。以下、千駄ヶ谷地域21人、代々木地域及び渋谷地域14人と続いている。

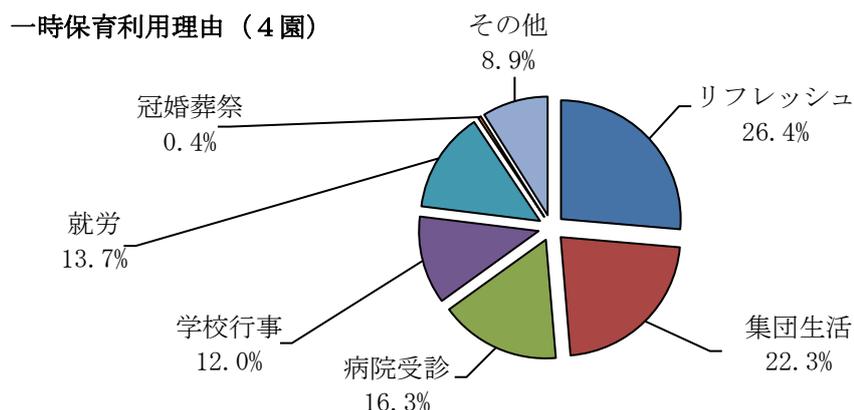
本町きらきらこども園は本町地域が一番多く、95人のうち57人を占めている。以下、代々木地域16人、幡ヶ谷地域が7人と続いている。

恵比寿のびのびこども園は恵比寿地域が一番多く、103人のうち29人を占めている。以下、恵比寿南地域21人、恵比寿西地域が15人、広尾地域10人と続いている。

本町そよかぜこども園は本町地域が一番多く、90人のうち43人を占めている。以下、幡ヶ谷地域が22人、西原地域が7人と続いている。

ウ 理由別利用者数（複数回答あり）

理由 施設	リフレッシュ	子どもが 集団生活 に慣れる ため	病院 受診	学校 行事	就労	冠婚 葬祭	その他	合計
あおぞら	56人	62人	44人	34人	34人	1人	18人	249人
きらきら	28人	16人	19人	11人	18人	0人	21人	113人
のびのび	59人	49人	32人	24人	25人	2人	15人	206人
そよかぜ	51人	37人	25人	19人	24人	0人	11人	167人
計	194人	164人	120人	88人	101人	3人	65人	735人



（2）ひろばの利用

ひろばでは、体験給食、見学会、身体計測など様々な事業を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は減少した。保護者の関心が高い見学会は、入園できる人数が限られているにも関わらず、昨年度よりも164人増えて759人となった。見学日は毎月実施日を設け、入園申込み前には回数を増やして対応した。

その他に「おはなし会」「音楽会」「食育講座」「こどもの安全教育」「ふれあい移動動物園」「育児体験」などを行った。

こども未来課が11月に実施したオータムファミリーコンサートには、夫婦・親子での参加が多く、午前43組、午後27組、合計211人が参加した。当日行ったアンケートでも「親子でゆっくりクラシック音楽を聴く機会を持てたのは良かった」との感想が寄せられた。

ア ひろば事業内訳

項目 施設	体験給食	見学会	身体計測	ヨガ	Eスタート (英語)	自由利用	合計
あおぞら	28人	108人	10人	91人		1143人	1,380人
きらきら	114人	84人	69人	127人	40人	563人	997人
のびのび	15人	151人	5人	93人		163人	427人
そよかぜ	80人	174人	69人	129人		508人	960人
にじ	19人	48人				10人	77人
ゆめ	31人	194人	17人			0人	242人
計	287人	759人	170人	440人	40人	2,387人	4,083人

※ 上記項目は、子どものみが参加するもののほか、親子で参加するものもあるが、表記は「人」で統一した。

イ 年齢別登録者

施設	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	妊婦	合計
あおぞら	56人	35人	11人	7人	4人	2人	0人	115人
きらきら	76人	39人	27人	25人	10人	5人	6人	188人
のびのび	43人	40人	17人	3人	4人	0人	5人	112人
そよかぜ	96人	51人	25人	12人	13人	7人	10人	214人
にじ	6人	21人	2人	11人	1人	0人	3人	44人
ゆめ	81人	15人	3人	2人	0人	0人	17人	118人
計	358人	201人	85人	60人	32人	14人	41人	791人

※ 行事（夏祭り・運動会）の参加者は登録者に含まない。

8 防災対策・避難訓練実施状況

消防法に基づき消防計画を策定し、防災設備・避難誘導器具等の日常点検の徹底を図った。年間の防災計画に従い避難訓練を毎月1回行うとともに、その計画の中に火災・消火訓練、地震、けがや事故に対応する救急車の要請訓練、不審者訓練、災害訓練、引取り訓練、さらにはJアラート訓練も取り入れて、様々な局面に対応できるよう訓練を行った。また、本町きらきらこども園は冠水の危険性があることから、備蓄食料を上階に移動させ、冠水発生時の訓練を行った。

	種別	災害想定	実施内容
4月	机上訓練 火災	調理室より出火	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画と防災職員体制を確認した。 避難方法、誘導経路、役割分担を確認した。 防災頭巾、靴、避難用品を点検した。
5月	火災	近隣より火災	<ul style="list-style-type: none"> 火災発見者は、慌てず正確に知らせる訓練をした。
6月	地震 火災 不審者	園内 地震火災 安全退避訓練	<ul style="list-style-type: none"> 地震発生を想定し、園児の安全を確保し、敏速に避難させた。 不審者侵入の際は、できるだけ不安を抱かせないように不審者から遠ざけ、不審者に対応する者は刺激しないようにする訓練をした。
7月	火災	火災 遅番時間帯 事務室	<ul style="list-style-type: none"> 火災発見者は、慌てず正確に知らせる訓練をした。 ベルの音を聞き、非常事態が起きたことを知った。 遅番時間帯の火災に対する基本的な動き方を経験した。
8月	地震 火災	関東地方 中震度発生 火災	<ul style="list-style-type: none"> 水遊び、プール遊び中の避難方法を訓練した・水着等の子どもの安全を確保した。 職員同士、声を掛け合って行動する訓練をした。
9月	地震 火災	関東地方 強震度発生 近隣より火災	<ul style="list-style-type: none"> 園庭に集まる訓練をした。 第一避難場所まで避難する訓練をした。 引き渡し訓練を行った。

10月	地震 火災	火災総合訓練 通報訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署員の指導・講評を受けた ・災害の怖さを子ども達に教えた。 ・通報、避難、消火など一連の動きを敏速に行う訓練をした。
11月	地震 火災	散歩先にて地震発生	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩中に災害が発生し、その場での避難誘導と園への報告を行った。
12月	地震 火災	関東甲信越地方 強震度発生 午睡時	<ul style="list-style-type: none"> ・午睡中の園児の安全を確保し、敏速に避難させる訓練をした。
1月	火災 防災	近隣店舗より出火 早朝保育時 Jアラートに対応	<ul style="list-style-type: none"> ・初期消火及び消火の報告の訓練をした。 ・通報、消火協力の方法を再確認した。 ・窓の近くから離れ建物の中心に避難し、頭や目を守る訓練をした。
2月	火災	不審者侵入 火災	<ul style="list-style-type: none"> ・警察に通報し、安全に避難させる訓練をした。 ・調理室ごみ置き場より出火した場合の避難訓練をした。 ・不審者対応確認とさすまたの使い方の指導を受けた。
3月	地震 火災 机上訓練	関東地方 中震度発生	<ul style="list-style-type: none"> ・予告なしの総合訓練を行う。 ・年間反省を行い、次年度の課題を検討した。

※ しぶや保育メール（緊急メール配信システム）登録者状況

神宮前あおぞらこども園は約96%、本町きらきらこども園は約94%、恵比寿のびのびこども園は約96%、本町そよかぜこども園は約97%、神宮前保育園にじは100%、西原保育園ゆめは約96%となっている。昨年度の登録率は62%～80%だったので大きく上昇した。全園で導入した連絡帳アプリによる緊急連絡も可能となった。

9 職員研修

(1) 新規採用者に対する取り組み

新規採用者については、法人内のこども園及び保育園において、約4～5日間の現場研修を行った。また、現場研修とは別に総合研修として、「コミュニケーションスキル初級編」「保護者の苦情対応」「実務研修 零歳児のポイント、日案（毎日の具体的な指導計画）や連絡帳の書き方」「防災の手引き」などの研修を実施した。

また、配属半年後に振り返り研修を実施し、グループワークで仕事の進め方等の振り返りを行った。

(2) 現職員研修の取り組み

質の高い保育教育サービスを提供するために、職員の質の向上、専門技術の習得など様々な研修（区の保育研修、公立保育園研究会主催研修、東社協研修、私立園研修）に参加した。

年齢別研修では、23人が法人内のこども園・保育園の他園に1日研修として参加し、他園の保育・環境から自園で活かせることや応答的な関わり等を学んだ。

全職員を対象に演劇を学ぶ研修を実施し、今後の行事開催に活用できる演出等を習得した。

また、海外研修（イタリア・レッジョエミア）に5人、国内研修（北海道旭川市・岩見沢市、福岡県那珂川市、神奈川県横浜市）には若手職員を中心に計32人が参加し、その報告をもとに各園が園内研修を実施し、内容を共有した。

研修内容	延べ参加人数	研修機関・講師等
東社協研究大会	6人	東京都社会福祉協議会
区研修 保育講座（保育の方法 全5回）	30人	渋谷区子ども家庭部保育課
区研修 保育課職場研修（保育内容） 統合保育フォローアップ学習会	60人	渋谷区子ども家庭部保育課
幼児教育研修会	6人	渋谷区教育委員会
保育講座・保育ゼミ・夏期ゼミ	165人	公立保育園研究会
年齢別研修	23人	事業団こども園・保育園

（3）各園の職場研修の取り組み

各園での職員構成、保育力及び地域性を踏まえて実施した。

ア 神宮前あおぞらこども園

熱性痙攣や嘔吐処理の対処方法、座薬の使用方法、なわとび講習、年齢に合った保育環境を考える

イ 本町きらきらこども園

応答的保育を考える、安全教育、異年齢保育を考える

ウ 恵比寿のびのびこども園

応答的保育を考えて実践する、年齢に合った保育環境を考える、アレルギー対応（エピペンの使い方）、嘔吐処理の対処方法、ケガ・事故などの緊急児対応

エ 本町そよかぜこども園

保育環境の見直し、担任を交換して他のクラスを知る、子どもの人権を守る、園内の危険箇所を知る、園外の安全を考える

オ 神宮前保育園にじ

気になる子の関わり方、安全教育、応答的保育・異年齢保育を考える、園のヒヤリハット検証

カ 西原保育園ゆめ

環境構成の見直しと実践、嘔吐処理の対処方法

キ その他

「虐待の予防チェック表」を作成して全職員で確認を行った。また、「自己評価チェックリスト」を作成し、各自が年3回チェックをして保育の質の向上を目指した。

コミュニケーションスキル、保護者対応、子どもの気になる行動と特徴、リスクマネジメント、プール遊びにおける安全指導、AEDの使い方は各園内で行った。

10 その他の取り組み

(1) 第三者評価の実施

ア 恵比寿のびのびこども園

7月16日	事前打ち合わせ
9月14日	職員説明会及び保護者アンケート配付
12月10日	訪問調査 保護者 100人中40人回答 (回答率: 40.0%) 職員 31人中31人回答 (回答率: 100%)
2月 3日	評価結果報告
3月中旬	ホームページ公開

イ 西原保育園ゆめ

7月16日	事前打ち合わせ
9月14日	職員説明会及び保護者アンケート配付
11月14日	訪問調査 保護者 90人中47人回答 (回答率: 52.2%) 職員 25人中25人回答 (回答率: 100%)
2月 3日	評価結果報告
3月中旬	ホームページ公開

(2) 職場体験（育児体験含む）の実施（延人数）

施設	小学生	中学生	高校生	合計
あおぞら	0人	11人	0人	11人
きらきら	0人	24人	0人	24人
のびのび	0人	0人	0人	0人
そよかぜ	33人	8人	0人	41人
にじ	15人	1人	0人	16人
ゆめ	0人	0人	0人	0人
計	48人	44人	0人	92人

(3) 実習生及びインターンシップ受入

実習については、希望があれば全園で随時受け入れ可能であり、青山学院女子短期大学子ども学科（4人）、竹早教員保育士養成所（2人）、東京都市大学人間科学部児

童学科（1人）、東京未来大学福祉保育専門学校（1人）、こども教育宝仙大学こども教育学部（1人）、帝京平成大学現代ライフ学部児童学科（1人）から実習生を受け入れた。

インターンシップについては、日本児童教育専門学校（1人）を受け入れた。

（4）夏体験ボランティア受入（主に7月、8月の夏休み期間、延人数）

施設	中学生	高校生	大学生	合計
あおぞら	23人	0人	0人	23人
きらきら	18人	0人	3人	21人
のびのび	12人	1人	3人	16人
そよかぜ	9人	0人	0人	9人
にじ	9人	0人	4人	13人
ゆめ	10人	11人	0人	0人
計	81人	12人	10人	92人

（5）ゴールデンウィーク中の特別休日保育の実施

令和元年5月1日、西原保育園ゆめが実施して23人が利用した。

（6）苦情対応について

利用者から寄せられた苦情、意見、指摘を真摯に受け止め、ISO10002:2004に基づいた苦情対応、解決に向けて迅速、誠実、公正に対応を行い、原因を特定し、再発防止策を講じている。

また、各園に「ご意見箱」を玄関に設置し、年度末や保護者会、行事毎にアンケートを実施し、利用者の要望を把握している。各園の苦情については年度毎にホームページで公開している。

（7）健康教育

全園の幼児クラスでは、毎月の身体計測の際に看護師による健康教育を実施している。手洗いやうがいの指導、栄養の大切さ、自分の体の仕組み、早寝早起きの励行等について、紙芝居や人形などを使い見て分かるように行っている。毎月、年齢ごとに怪我の内容や感染症の流行なども把握しており、事故予防や安全衛生を心がけている。

地域包括支援センター・居宅介護支援事業所の事業報告

事業団は、「あやめの苑・代々木地域包括支援センター」「つばめの里・本町東地域包括支援センター」「笹幡地域包括支援センター」「ケアコミュニティ・原宿の丘地域包括支援センター」「豊沢・新橋地域包括支援センター」「富ヶ谷・上原地域包括支援センター」及び「千駄ヶ谷・北参道地域包括支援センター」の7か所を渋谷区から受託運営し、地域包括ケアシステムの推進に向け、地域との連携強化を図るとともに課題把握に努めた。

地域包括支援センターは、地域包括ケアシステムの構築及び推進を図るため、地域で暮らす高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を継続することができるよう、親身になって相談に乗り、介護サービスをはじめとした様々なサービスが高齢者のニーズや状態の変化に応じて、途切れることなく提供されるように、高齢者の生活を支える総合相談窓口の役割を果たしている。

そのうち、あやめ、笹幡、原宿の丘及び豊沢・新橋の4センターは、圏域における統括・総合調整の機能を担っている。

さらに、認知症地域支援推進員を置く機能強化型包括支援センターとして、渋谷区の認知症施策「認知症になっても安心して暮らせる渋谷」を目指し、渋谷区と協働で認知症初期集中支援チーム及び認知症相談会の運営、認知症ケアパスの作成、認知症フォーラムを行った。また、認知症サポーター養成講座の開催等、啓発・普及活動を図り、地域づくりである人材の発掘・ネットワークの構築に取り組んだ。

1 事業内容

- (1) 介護予防ケアプラン作成及び介護予防事業の紹介
- (2) 高齢者の介護や保健・福祉サービス利用等の総合相談支援
- (3) 虐待に関する相談等の権利擁護事業

◆ 地域包括支援センター利用状況（令和2年3月31日現在）

ア 相談件数

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊沢・新橋	670件	623件	665件	782件	765件	753件
富ヶ谷・上原	632件	509件	575件	793件	729件	694件
あやめ	792件	796件	751件	1,118件	867件	745件
本町	580件	678件	735件	990件	856件	845件
笹幡	784件	734件	777件	685件	926件	710件
千駄ヶ谷・北参道	427件	376件	491件	409件	597件	456件
原宿	633件	548件	603件	712件	563件	587件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豊沢・新橋	771件	721件	766件	806件	755件	836件	8,913件
富ヶ谷・上原	648件	618件	754件	610件	679件	744件	7,985件
あやめ	759件	721件	824件	881件	814件	960件	10,028件
本町	750件	660件	726件	666件	675件	717件	8,878件
笹幡	918件	733件	743件	727件	722件	830件	9,289件
千駄ヶ谷・北参道	383件	446件	337件	416件	386件	330件	5,054件
原宿	666件	581件	569件	614件	690件	685件	7,451件

イ 介護予防事業新規契約件数（総合事業含む）

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊沢・新橋	12件	7件	8件	15件	12件	9件
富ヶ谷・上原	5件	3件	3件	6件	8件	4件
あやめ	3件	7件	5件	4件	2件	5件
本町	7件	7件	4件	7件	8件	7件
笹幡	11件	8件	9件	9件	12件	8件
千駄ヶ谷・北参道	4件	1件	4件	5件	8件	3件
原宿	4件	2件	10件	7件	3件	4件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豊沢・新橋	6件	8件	5件	9件	10件	6件	107件
富ヶ谷・上原	2件	4件	4件	11件	6件	3件	59件
あやめ	7件	6件	9件	6件	10件	6件	70件
本町	5件	17件	7件	5件	7件	7件	88件
笹幡	11件	7件	9件	5件	11件	6件	106件
千駄ヶ谷・北参道	0件	5件	2件	3件	7件	5件	47件
原宿	3件	3件	9件	5件	7件	6件	63件

ウ ケアプラン作成件数

(ア) 介護予防支援（予防給付）

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊沢・新橋	161件	154件	163件	163件	167件	164件
富ヶ谷・上原	95件	91件	96件	94件	94件	93件
あやめ	123件	125件	124件	124件	120件	121件
本町	153件	150件	145件	148件	154件	157件
笹幡	161件	166件	166件	171件	173件	171件
千駄ヶ谷・北参道	82件	74件	76件	81件	81件	82件
原宿	65件	70件	76件	84件	79件	79件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豊沢・新橋	154件	153件	156件	149件	157件	152件	1,893件
富ヶ谷・上原	97件	94件	94件	89件	91件	96件	1,124件
あやめ	128件	122件	125件	118件	119件	119件	1,468件
本町	156件	169件	170件	157件	158件	150件	1,867件
笹幡	177件	177件	177件	171件	171件	177件	2,058件
千駄ヶ谷・北参道	79件	89件	84件	84件	86件	82件	980件
原宿	83件	82件	78件	88件	88件	85件	957件

(イ) 介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業：総合事業）

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊沢・新橋	90件	93件	88件	92件	93件	90件
富ヶ谷・上原	78件	79件	79件	81件	83件	77件
あやめ	109件	106件	106件	106件	97件	99件
本町	96件	99件	98件	99件	99件	97件
笹幡	92件	91件	88件	91件	93件	97件
千駄ヶ谷・北参道	64件	61件	65件	63件	67件	65件
原宿	66件	62件	65件	63件	57件	59件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豊沢・新橋	87件	89件	93件	89件	88件	86件	1,078件
富ヶ谷・上原	74件	77件	74件	80件	80件	75件	937件
あやめ	103件	106件	103件	95件	101件	96件	1,227件
本町	94件	99件	93件	93件	96件	95件	1,158件
笹幡	94件	97件	83件	79件	85件	84件	1,074件
千駄ヶ谷・北参道	59件	57件	56件	57件	57件	57件	728件
原宿	58件	66件	70件	63件	62件	55件	746件

◆ 居宅介護支援事業利用状況（令和2年3月31日現在）

ア 居宅介護事業申請受付件数及びケアプラン作成件数

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
あやめ居宅	0件	0件	2件	3件	0件	0件
	17件	15件	16件	19件	22件	23件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
あやめ居宅	0件	0件	1件	0件	0件	0件	6件
	14件	13件	14件	14件	14件	14件	195件

※ 上段は申請受付件数、下段はケアプラン作成件数。

イ 認定調査実施件数

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
あやめ居宅	143件	174件	134件	115件	109件	137件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
あやめ居宅	119件	117件	119件	106件	116件	146件	1,535件

2 職員配置（令和2年3月31日現在）

（1）地域包括支援センター

施設	職種	課長	事務	介護支援 専門員	保健師・ 看護師	合計	総合計
豊沢・新橋	正規職員			4人	3人	7人	8人
	非正規職員			1人		1人	
富ヶ谷・上原	正規職員			4人	1人	5人	5人
	非正規職員			0人		0人	
あやめ	正規職員	1人	1人	4人	2人	8人	9人
	非正規職員			1人		1人	
本町	正規職員			5人	1人	6人	6人
	非正規職員					0人	
笹幡	正規職員			5人	1人	6人	7人
	非正規職員			1人		1人	
千駄ヶ谷・ 北参道	正規職員	1人		2人	1人	4人	4人
	非正規職員					0人	
原宿	正規職員			3人	2人	5人	6人
	非正規職員			1人		1人	
総合計	正規職員	2人	1人	27人	11人	41人	45人
	非正規職員	0人	0人	4人	0人	4人	

※ センター長が課長（介護支援専門員）である施設

あやめ、千駄ヶ谷・北参道

※ センター長が介護支援専門員を兼務している施設

豊沢・新橋、富ヶ谷・上原、本町、笹幡、原宿

※ 正規職員の看護師のうち、産休取得中が1人

（2）居宅介護支援事業所

施設	職種	介護支援 専門員	合計	総合計
あやめ	正規職員	1人	1人	3人
	非正規職員	2人	2人	

3 勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間以内の勤務とする。

（1）地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所職員

職種	勤務	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
介護支援 専門員 看護師	平常	8:30	—————											17:15					
	遅番A	9:00	—————											17:45					
	遅番B	10:15	—————											19:00					

4 職員研修

地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所においては、介護支援専門員の資格に関わる専門研修、認定調査員の研修等に参加している。高齢者を支援する上で必要な専門的知識をより深めるため、認知症研修、高齢者虐待防止や在宅医療等の研修、権利擁護に関する研修等に参加し、福祉・保健・医療の連携を図るため、自己研鑽に努めた。

研修内容	延参加 人数	延研修 日数
介護支援専門員専門研修、地域包括ケアにおける地域づくりの基盤を整えるには？、擁護者による高齢者虐待対応研修、地域包括支援センター職員研修（初任者研修）、認知症初期集中支援チーム員研修、ケアマネージャー連絡協議会研修会、精神保健福祉研修（前期研修）、ケアマネジメントの質の向上研修会、介護支援専門員等研修会、若年性認知症相談支援研修、社会福祉事業者人権研修、ケアマネージャー連絡協議会 主任部会、ケアマネージャー連絡協議会 夏期講習会、認知症カフェ、認知症とともに生きるために、私たちができること、自立支援・重度化防止に向けた主任介護支援専門員・保険者研修、地域包括ケアにおける地域づくりの基盤を整えるには？、精神科症状の見方、キャラバンメイト養成研修、若年性認知症相談支援研修、自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議実践者養成研修、主任介護支援専門員研修、養護者による高齢者虐待対応研修、在宅看取りのすすめ、認知症地域共生社会をつくる、認知症地域対応向上研修、認知症とともに暮らす、介護人材育成研修、高齢化する精神疾患と8050問題、多職種勉強会、認知症地域支援推進員研修（現認者研修）、高齢者権利擁護研修、渋谷区医師会地域包括ケア学習会、接遇講習会、福祉用具事業説明会、高齢者権利擁護研修「養護者による高齢者虐待研修」、渋谷区医師会地域包括ケア学習会キャラバンメイトフォローアップ研修、地域ケア情報交換会「つながっている？私の『つなげる』」、介護支援専門員等研修会「介護ケアプランに活かす障害者福祉の理解」、認知症多職種協働研修、神奈川県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ・実務経験者に対する更新研修、飯田橋榎本クリニック第5回飲酒問題、介護人材育成研修事業、介護支援専門員更新研修、摂食機能低下予防支援事業講演会、渋谷 新宿 世田谷 目黒のこれからの地域医療・介護を語り合う会、高次脳機能障害者相談支援研修会、南部圏域ささえあい会議、ギャンブル依存症の現状と支援について、高齢者虐待、セルフネグレストを見逃さないためのポイント、医師会多職種研修会、認知症とともに暮らす地域あんしん事業、認知症地域対応力向上研修、地域包括支援センターで働く看護職のための交流会、もの忘れ家族教室『超高齢社会を生き抜く』、地域包括支援センター職員研修（現任者研修）、介護現場におけるハラスメント対策説明会、認知症初期集中支援チーム員研修、介護保険事業者説明会、高次脳機能障害の理解と対応、介護予防・フレイル予防普及啓発イベント、地域包括ケアシステムにお	272人	272日

ける認知症予防、精神的な課題を持つ家族と高齢者をチームで支える、養護者による高齢者虐待対応研修（応用研修B）、北部圏域研修会「科学的介護の基礎知識」、在宅療養研修事業「病院内での理解促進研修」、臨床精神医学講座 認知症という病気はない		
---	--	--